

教科名	国語	単位数	2	新編現代の国語 教科書：東京書籍 問題集：東京書籍	新編現代の国語 教科書：東京書籍	学習課題ノート など						
科目名	現代の国語	対象年次	1年	授業の進め方 言語活動などにおいてペア学習やグループ学習を適宜取り入れ、学び合う雰囲気の中で学習を行う。	①予習：教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②授業：考えを言語化することを意識し、活動に積極的に取り組む。 ③復習：授業プリントを見直し、問題集を解く。							
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。											
評価の観点	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。											
月	単元・学習項目	学習内容	ねらい	評価の観点	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
4	1 自己を見つめる 「ルリボンシカミキリの青」(読むこと 5時間)	□「そんな気持ち」の内容を捉え、「好きなことがあること」がなぜ大切なのかを理解し、筆者の主張を読み取ることができる。 □読解前後で自分自身の興味や関心についてのイメージを比較することができる。		○	○	授業態度(音読、発問) 授業内発表 定期考査						
5	2 他者に出会う 「未来をつくる想像力」(読むこと 4時間) 【中間考査】 「水の東西」(読むこと 2時間)	□筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解することができる。 □本文の内容を踏まえて、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。 □日本と西洋の具体例を挙げることで、対比を通して分かりやすく論じていることに気付く。 □文章の種類を踏まえて、叙述を基に的確に捉えて筆者の主張を読み取ることの重要性を理解することができる。 □筆者の「思わく」や培った経験からの自負から、現実の厳しさを知った筆者の心情を理解することができる。 □筆者の必死の行動とは何かを理解し、それによって先輩の料理人たちがどのように変化しただかを読み取ることができる。 □都合で暮らしていた筆者が覚えた違和感と、山での暮らしで得た実感を読み取ることができる。	○	○	○	○	授業態度(音読、発問) グループワーク 定期考査					
6	5 社会とかわかる 「鍋洗いの日々」(読むこと 1時間) 「森で染める人」(読むこと 2時間) 言語活動 僅れの職業について調べ、整理してまとめよう(書くこと 10時間)	□都合で暮らしていた筆者が覚えた違和感と、山での暮らしで得た実感を読み取ることができる。 □自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考えようとしている。 □僅れの職業について、実際に経験した人の話や関係する書物などから詳しい情報を集めることができる。 □書くことにおいて、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要な点を考えて文章の構成や展開を工夫している。		○	○	○	○	授業態度(音読、発問) 授業プリントの提出 定期考査				
7							○	○	○	○	授業内態度 授業内提出物	
振り返り 反省	観点別評価の割合						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	9%	9%	9%

教科名	国語	単位数	3	新編言語文化 教科書：東京書籍 問題集：東京書籍	使用教材	新編言語文化 学習課題ノート など	
科目名	言語文化	対象年次	1年	教科書を中心として学習し、確認プリントや問題集でまともな取り組みを進める。 言語活動などにおいてペア学習やグループ学習等を適宜取り入れ、学び合う雰囲気の中で学習を行う。	授業の進め方		
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を、下記の評価の観点のとおり育成することを旨とする。			①予習：教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②授業：授業時間が最も重要。授業中に完全に理解するつもりで、質問するなど、集中して授業に臨む。 ③復習：教科書やノートを再直し、問題集を解く。 ④調査前：問題集や確認プリントを繰り返し解く。課題には必ず取り組み。	学習方法 (留意点)		
評価の観点	知識・技能			論理的に考える力や深い共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
月	単元・学習項目	知能・技能	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	
4	古文編 1 古文入門 古文の世界へ ・古文に親しむ ・兄のそら寝『宇治拾遺物語』 ◎古文学習のしるべ 歴史的仮名遣い、品詞	ノートの取り方、辞書の使い方がわかる。 □歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せる。古文を正しく音読できる。 □現代語訳の方法を理解する。 □僧たちが大笑いした理由を考え、古文を正しく音読できる。 □僧たちはいつの時点で兄のそら寝に気づいたかを考え、積極的に意見を述べようとする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	現代文編 1 随筆 生きる喜び ・さくらざくらざくら 俵万智 【中間調査】	□読みを確認し、段落を意識して、すらすらと音読することができる。 □日本独特の格に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の接への思いを整理しようとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	漢文編 1 漢文入門 漢文に親しむ ・訓詁 ・格言 ・故事成語 借虎威 現代文編 2 小説1 触れ合う心 ・とんかつ 三浦哲郎 【期末調査】	□古典学習の予習の大切さを知り、進んで予習を行い授業に臨もうとする。 □火事などのときの良秀の行動と心情を理解し、良秀と世間の人とのものの考え方や感じ方が違うことに気づくことができる。 □動詞・形容詞・形容動詞の活用について知る。 □漢文の文構造について理解できる。 □返り点や返読文字、置き字がわかる。 □返り点に従って正しく書き下すことができる。 □進んで自分の考えた書き下し文を発表しようとする。 □どのようなことを伝えようとしたか、寓意を知る。 □小説の基本的な設定(時・所・登場人物)を押さえる。 □女主人・母親・息子それぞれの心情を読み取る。 □タイトル「とんかつ」の意味を考え、進んで発表する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	古文編 2 随筆 日々の思い ・龜山殿の御池に『徒然草』 ・雪のおもしろう降りたりし朝『徒然草』 ・うつくしきもの『枕草子』 ◎古文学習のしるべ 主な助動詞	□単語調べ、現代語訳など、予習ができていく。 □助動詞の種類と働きについて知る。 □結びの一文から、筆者の言おうとしたことを読み取る。 □作者ととき人との関係について、自分なりの考えを考える。 □作者はどのようなものを「うつくし」と感じているかについての自分の考えを述べて発表し、友だちの意見と比べてよりよい意見にしようとする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
振り返り 反省		観点別評価の割合			知識・技能 % 思考・判断・表現 % 主体的に学習に取り組む態度 %		

教科名	公民	単位数	3	使用教材	公共(東京書籍)、クローズアップ公共2023(第一学習社) 公共ワークノート(東京書籍) 教科書を中心に板書計画を立て、定期的な小テストやポータルワークや探究活動を実施する。 教科書や資料集の中のテーマを取り上げ、グループワークや探究活動を実施する。
科目名	公民	対象年次	第1学年	授業の進め方	①予習:教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②授業:授業時間が最も重要。授業中に理解するつもりで臨む。ポータルワークでの振り返りも欠かせない。 ③復習:教科書やノートを見直し、問題集を解く。 ④調査前:問題集やプリントを繰り返し解く。課題には必ず取り組む。
学習目標	・現代社会の諸課題を考察する際に活用できる考え方や基本的原理を身につける。 ・現代社会の諸課題に関する自分の意見を論述を通して的確に表現できるようになる。 ・現代社会の諸課題の解決策について、学んだ知識を生かしながら追い求める姿勢を身につける。				
評価の観点	知識・技能 現代の諸課題を考察するための手がかりとなる概念や理論を理解しているとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に集めている。				
月	単元・学習項目 〇第1部「公共」のとりまき <第1章 公共的な空間> (1)現代社会に生きる青年 1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画 (2)社会的な関係のなかで生きる人間 1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統・文化のなかの人間 <第2章 公共的な空間における人間としての在り方> 1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理 【活用 生命倫理について考える】 【中間考査】				
4	〇青年期の特徴や発達課題としてのアイデンティティの確立の理解を手がかりに、青年期に生きる自己形成の課題について考察する。 〇現代社会で生きる上で何が課題なのか、現代社会の特徴やキャリア開発の意義、社会参画を通じて育てるシブシブの意義などについて理解する。 〇カントやJ.S.ミルの考え方の理解を基に、人間を「個人」として尊重することの意味について多面的・多角的に考察する。 〇アーレントやハーバーマス、和辻哲郎の思想の理解を手がかりに、社会的な存在としての人間のあり方について考察する。 〇丸山真実の考え方がかりに、ものの見え方や考え方が伝統・文化と深くかかわっていることを理解し、そこにおける課題について考察する。				
5	〇行為選択の理由付けについて、目的論と義務論の考え方が理解できる。 〇目的論に関して、帰結主義による功利主義と徳倫理学の主な考え方を理解する。 〇義務論について、カントの道徳法則や自律の意味について理解する。 〇社会的公平性の是非について、ロールズの考え方やセンの考え方を理解する。 〇先人の思想を手がかりに、思考実験を用いて、課題解決の方法について考察し議論する。				
6	<第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会> 1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち <第1章 民主政治と私たち> 1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 【期末考査】				
7	〇三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、実際の政治情勢とも関連させながら理解する。 〇内閣の役割について、実際の政治情勢とも関連させながら理解する。 〇有権者の意思をよりよく反映する投票点から、日本の選挙制度について考察する。 〇政党や利益集団の役割、政治資金にかかわる課題について考察する。 〇世論形成に及ぼすメディアの役割、正しい情報に基づく合理的な判断の重要性について考察する。				
振り返り 反省					
	知識・技能	〇	〇	〇	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポータルワーク【主】 発問評価【主】
	思考・判断・表現	〇	〇	〇	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポータルワーク【主】 発問評価【主】
	主体的に学習に取り組む態度	〇	〇	〇	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポータルワーク【主】 発問評価【主】
	評価の方法	〇	〇	〇	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポータルワーク【主】 発問評価【主】
	評価の観点	〇	〇	〇	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポータルワーク【主】 発問評価【主】
	主体的に学習に取り組む態度	〇	〇	〇	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポータルワーク【主】 発問評価【主】

教科名	公民	単位数	3	使用教材	公共(東京書籍)、クロースアップ公共2023(第一学習社) 公共ワークノート(東京書籍)	
科目名	公民	対象年次	第1学年	授業の進め方	教科書を中心に板書計画を立て、定期的な小テストやポートフォリオ等で学習内容を確認しながら進める。 教科書や資料集の中のテーマを取り上げ、グループワークや探究活動を実施する。	
学習目標	<p>現代社会の諸課題を考察する際に活用できる考え方や基本的原理を身につける。 現代社会の諸課題に関する自分の意見を論述を通して的確に表現できるようにする。 現代社会の諸課題の解決策について、学んだ知識を生かしながら追究し求める姿勢を身につける。</p>					
評価の観点	<p>知識・技能 現代の諸課題を考察するための手がかりとなる概念や理論を理解しているとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に集めている。</p> <p>思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生きる公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>					
月	単元・学習項目	評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
8	<p><第2章 法の働きと私たち> テーマ1 法や規範の意義と役割 1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用</p>	<p>○道徳を含む社会規範における法の特徴、法の役割、法の区分とそれぞれの特色について理解する。 ○法的作用と提出、民事裁判と刑事裁判、裁判における法の適用、法の解釈の意味などについて理解する。</p>	○ ○	○	○	小テスト、学習プリント【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポートフォリオ【主】 発問評価【主】
9	<p>テーマ2 市民生活と私法 【追究しよう】現代の市民生活における私法の役割と意義は何か? 1 市民生活と法 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任 テーマ3 国民の司法参加 【追究しよう】国民が司法に参加するうえで考えるべきことは何か? 1 司法のしくみと役割 2 刑事司法と司法参加の意義 【中間考査】</p>	<p>○私法の性格、私法の三つの原則、過失責任の原則について理解する。 ○契約の種類とその特色、契約自由の修正が必要な理由について考察する。 ○消費者契約や消費者法制が、消費者の権利とその尊重、自立支援をめざしていることについて具体的な事例をとおして考察する。 ○司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権について理解する。 ○刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度について理解する。</p>	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポートフォリオ【主】 発問評価【主】
10	<p><第3章 経済社会で生きる私たち> テーマ1 現代の経済と市場 1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ 3 国民所得と経済成長 テーマ2 市場経済における金融の働き 1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と金融環境の変化</p>	<p>○経済循環について、経済主体を挙げながら説明できるようにする。 ○市場経済における価値の働き、市場の失敗と政府の役割について、実際の経済現象とも関連させながら理解する。 ○景気変動や物価の変動、インフレーションなどが人々の生活にどのような影響を及ぼすかを考察する。 ○金融と金融システムが日々の生活と密接に関わることに気づく。 ○中央銀行の役割や金融政策について理解する。</p>	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	小テスト、学習プリント【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポートフォリオ【主】 発問評価【主】
11	<p>テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度 【追究しよう】「持続可能な財政」を実現するためにどうすべきだろうか? 1 財政の働き 2 財政の課題 3 社会保障の考え方 4 社会保障の課題とこれらから 【期末考査】</p>	<p>○財政の三つの機能、財政政策、財政のしくみや租税法律主義などについて、実際の働きとも関連させながら理解する。 ○財政問題について、資料を読み取りながら問題解決の方向性について考察する。 ○社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、実生活とのかかわりも含めて理解する。 ○今後の社会保障制度をどのように展望するか考える。</p>	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	小テスト、学習プリント【知】 定期考査【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポートフォリオ【主】 発問評価【主】
12	<p><第4章 私たちの職業生活> テーマ1 働くことの意味と職業選択 1 働くということ 2 多様な職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題 1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題</p>	<p>○働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、実際の働きや労働のあり方も含めて理解する。 ○職業選択の多様化とこれからのキャリア形成について考察する。 ○労働者の権利保障が必要であることについて考察する。 ○仕事と家庭生活の両立、男女格差の解消、安定した雇用などにかかわる課題とその解決の方向性について考察する。</p>	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	小テスト、学習プリント【知】 授業態度(出欠含む)【主】 ポートフォリオ【主】 発問評価【主】
振り返り 反省						

教科名	公民	単位数	3	使用教材	公共 (東京書籍)、クローズアップ公共2023 (第一学習社) 公共ワークノート (東京書籍) 教科書を中心に版書計画を立て、定期的な小テストやポートフォリオ等で学習内容を確認しながら進める。 教科書や資料集のテーマを取り上げ、グループワークや探究活動を実施する。	
科目名	公共	対象年次	第1学年	授業の進め方	①予習:教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②授業:授業時間が最も重要。授業中に理解するつもりで臨む。ポートフォリオでの振り返りも欠かさない。 ③復習:教科書やノートを見直し、問題を解く。 ④調査前は、問題集やプリントを繰り返し解く。課題には必ず取り組む。	
学習目標	現代社会の諸課題を考察する際に活用できる考え方や基本的原理を身につける。 現代社会の諸課題に関する自分の意見を論述を通して的確に表現できるようにする。 現代社会の諸課題の解決策について、学んだ知識を生かしながら追いかける姿勢を身につける。					
評価の観点	<p>知識・技能</p> <p>現代の諸課題を考察するための手がかりとなる概念や理論を理解しているとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に集めている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生きる公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>					
月	単元・学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
1	<p><第5章 国際社会のなかで生きる私たち></p> <p>テーマ1 国際社会のルールとしくみ 〔追究しよう 国際社会の課題を解決するためのどのようなルールが必要か?〕</p> <p>1 国際社会の成り立ち</p> <p>2 国際連合の役割</p> <p>テーマ2 国際社会と平和主義 〔追究しよう 国際社会の平和と安全を実現するには?〕</p> <p>1 日本の平和主義と冷戦</p> <p>2 冷戦後の世界と日本</p>	<p>○ 固有な資源を将来にわたってどのようなルールの下で維持・管理するのか、漁業をめぐり国際社会の課題を理解する。</p> <p>○ 国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象と関連させながら理解する。</p> <p>○ 国連の安全保障に果たす意義と課題について考察する。</p> <p>○ 核兵器をめぐり世界に広がる世界の動きを、核拡散の現状、国連における核兵器禁止条約、INF全廃条約の失効などから理解する。</p> <p>○ 平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策について、実際の事象とも関連させながら理解する。</p> <p>○ 冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、実際の事象とも関連させながら理解する。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>小テスト、学習プリント【知】【思】</p> <p>授業態度(出欠含む)【主】</p> <p>ポートフォリオ【主】</p> <p>発問評価【主】</p>
2	<p>テーマ3 国際平和への課題 〔追究しよう 国際社会における責任ある行動とは何か?〕</p> <p>1 現代の紛争とその影響</p> <p>2 平和な国際社会に向けて</p> <p>テーマ4 グローバル化する国際経済 〔追究しよう 経済のグローバル化は現代社会にどのような影響をもたらしたか?〕</p> <p>1 貿易のしくみ</p> <p>2 国際金融のしくみと動向</p> <p>【学年末考査】</p>	<p>○ 人権保護のための他国や国際機関の武力介入について、多面的・多角的に考察し議論する。</p> <p>○ 紛争や難民問題の解決に向けて国際機関やNGOなどの取り組みが求められていることを理解する。</p> <p>○ 平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の立場と役割について、実際の事象とも関連させながら理解する。</p> <p>○ 拡大するサービス貿易、「フットフォアーマー」の国境をこえた展開を例に経済のグローバル化の現状と課題について理解する。</p> <p>○ 自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進に向けた体制、国際収支統計の意味について、実際の経済的事象とも関連させながら理解する。</p> <p>○ 為替のしくみと外国為替市場、国際通貨制度とその変化、国際金融の動向について、実際の経済的事象とも関連させながら理解する。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>小テスト、学習プリント【知】【思】</p> <p>定期考査【知】【思】</p> <p>授業態度(出欠含む)【主】</p> <p>ポートフォリオ【主】</p> <p>発問評価【主】</p>
3	<p>3 グローバル化と今日の国際経済</p> <p>4 国際経済の諸課題</p> <p>第3部 持続可能な社会づくりに参画するために</p> <p>1 探究のイメージをつかもう</p> <p>2 探究プロセス</p>	<p>○ 現在の国際経済秩序と動き、地球統合の歴史と現在、台頭する新興国の動きなどについて、実際の事象とも関連させながら理解する。</p> <p>○ 南北問題の背景と推進、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて、実際の事象とも関連させながら理解する。</p> <p>○ 現代の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。</p> <p>○ 探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりする。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>小テスト、学習プリント【知】【思】</p> <p>授業態度(出欠含む)【主】</p> <p>ポートフォリオ【主】</p> <p>発問評価【主】</p>
振り返り 反省						

教科名	数学	単位数	3	使用教材	教科書：数研出版 最新 数学 I 問題集：数研出版 基本～標準 パラレルノート 数学 I 数研出版 3 ROUND 数学 I	
					問題集	教科書
科目名	数学 I	対象年次	1年	授業の進め方	基本的に教科書を進めていく。定期的な問題集・プリントで練習する。	
学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	知識・技能	思考・判断・表現	学習方法 (留意点)	①予習：教科書に目を通す。(例題を解き、疑問点をまとめておくことよ) ②復習：授業中に解けなかった問題を再度解く。週末課題として、3ROUND 数学 I をやる。 ③内容の確認のためにパラレルノートを解く。更なる向上を目指すために問題集に積極的に取り組む。	
評価の観点	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したとき、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	知識・技能	思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に變形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、繰り返し考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	
月	単元・学習項目	評価の観点		評価の方法		
	学習内容：わらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	第1章 数と式 ○多項式 ○多項式の加法・減法・乗法 ○展開の公式 ○式の展開の工夫 ○因数分解(基本) ○いろいろな因数分解(応用)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	宿題テスト 単元テスト 学習態度 自己評価プリント	
5	○実数 ○根号を含む式の計算 ○問題演習 ○不等式 ○不等式の性質 ○1次不等式の解き方	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	定期考査 単元テスト 課題・ノート提出 学習態度 自己評価プリント	
6	【中間考査】 ○連立不等式 ○不等式の利用 第2章 集合と命題 ○集合と部分集合 ○共通部分、和集合、補集合 ○命題と集合 ○命題と証明 ○問題演習	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	定期考査 単元テスト 課題・ノート提出 学習態度 自己評価プリント	
7	【期末考査】 第3章 2次関数 ○関数 ○2次関数のグラフ① ○2次関数のグラフ②	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	単元テスト 学習態度 自己評価プリント	
振り返り 反省		観点別評価の割合		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				%	%	%

教科名	理科	単位数	2	教科書： 数研出版 新編化学基礎 問題集： 数研出版 新課程新編化学基礎準拠ノートまとめと問題
科目名	化学基礎	対象年次	2年理系	教科書を中心に内容を理解しながら、例題や練習問題を解き、まとめを行いながら進める。 教科書にある観察、実験を実施し、対話することで基本的な概念や原理、法則を理解する。
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	授業の進め方 学習方法 (留意点)	① 予習：教科書に目を通し、記憶内容や実験例を把握しながら、疑問や不明な点を整理する。 ② 授業：授業時間が最も重要。授業中に完全に理解するつもりで、質問するなど、集中して授業に臨む。 ③ 復習：ノートや確認プリントを見直して学習内容を確認する。授業中に解けなかった例題、練習問題を解く。 ④ 基礎基本を固めるために、問題集のまとめで語句を確認し、ドリルや問題で演習を繰り返す。	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	知識・技能 化学的な事象・現象について観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理、法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	思考・判断・表現 化学的な事象・現象に対して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析、解釈などの探究の方法を習得している。	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度
月	単元・学習項目	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	評価の観点 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
8	1学期の復習 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定	中和反応とは何か説明できる 塩とは何か説明できる	中和反応とは何か説明できる 塩とは何か説明できる	
9	第3章 酸化還元反応 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用	酸化と還元を、酸化数から説明できる 酸化剤と還元剤の反応から、化学反応式をつくれることができる イオン化傾向をもとに、反応の有無を推定できる 電池が酸化還元を利用していることを説明できる	酸化と還元を、酸化数から説明できる 酸化剤と還元剤の反応から、化学反応式をつくれることができる イオン化傾向をもとに、反応の有無を推定できる 電池が酸化還元を利用していることを説明できる	
10	中間考査			学習プリント 発問評価 実験レポート 定期考査 授業態度 ポートフォリオ
11				
12				
振り返り 反省	観点別評価の割合	知識・技能 9%	思考・判断・表現 9%	主体的に学習に取り組む態度 9%

教科名	理科	単位数	2	教科書：教研出版 新編化学基礎 問題集：教研出版 新課程新編化学基礎準拠ノートまとめと問題
科目名	化学基礎	対象年次	2年理系	教科書を中心に内容を理解しながら、例題や練習問題を解き、まとめを行いつつ進める。 教科書にある観察、実験を実施し、対話することで基本的な概念や原理、法則を理解する。
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	授業の進め方	学習方法 (留意点)	① 予習：教科書に目を通し、記述内容や実験例を把握しながら、疑問や不明な点を整理する。 ② 授業：授業時間が最も重要。授業中に完全に理解するつもりで、質問するなど、集中して授業に臨む。 ③ 復習：ノートや確認プリントを見直して学習内容を確認する。授業中に解けなかった例題、練習問題を解く。 ④ 基礎基本を固めるために、問題集のまとめで語句を確認し、ドリルや問題で演習を繰り返す。
評価の観点	知識・技能 化学的な事象・現象についての観察、実験などを行うことを通じて、化学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1			知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
2			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3			知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
振り返り 反省			観点別評価の割合	主体的に学習に取り組む態度
				思考・判断・表現
				知識・技能
				%
				%
				%

教科名	理科	単位数	使用教材	教科書・教研出版 新編生物基礎 問題集：教研出版 新課程 新編生物基礎準拠 サポートノート		
科目名	生物基礎	対象年次	授業の進め方	教科書を中心にして学習し、学習プリントや問題集でまとめを行いながら進める。 教科書にある簡単な観察、実験内容を生徒実験や演習実験などによって確認する。		
学習目標	日常生活や社会との関連を回りながら生物現象への関心を高め、目的意識をもつて観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	1年	学習方法 (留意点)	①予習：教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②復習：授業時間か最も重要。授業中に完全に理解するつもりで、質問するなど、集中して授業に臨む。 ③復習：教科書やノートを見直し、問題集を解く。 ④調査前は、問題集や学習プリントを繰り返し解く。課題には必ず取り組む。		
評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
月	単元・学習項目	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見直しをもつて観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性 2 生物の共通性と由来 3 生物に共通する構造—細胞	・生物が細胞からできている「遺伝情報としてDNAをもっている」「生命活動にはエネルギーが必要」などの共通性をもつことを理解する。 ・生物のもつ共通性は共通の祖先に由来することを理解する。 ・さまざまな哺乳類の比較に基づいて、生物が生存環境に適した形態や機能をもっていることに気づき、説明できる。 ・さまざまな生物の比較に基づいて、すべての生物に見られる特徴について考え、共通性を見いだすことができる。 ・生物と生物でないものを見分け、その判断理由について「生物の共通性」をもとに説明できる。 ・生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	授業態度 (出欠状況)
5	第2節 エネルギーと代謝 1 生命活動とエネルギー ＜実習＞1日の消費エネルギーの算出 呼吸と光合成	・生命活動にはエネルギーが必要であり、そのエネルギーはATPから供給されていることを理解する。 ・ATPが生命活動にエネルギーを供給するしくみについて理解する。 ・実習「1日の消費エネルギーの算出」を行い、1日で消費するエネルギーの量を知る。 ・ヒトがエネルギーを取り入れる方法について説明できる。 ・エネルギーと代謝に関心をもち、主体的に学習に取り組む。 ・呼吸や光合成の過程でATPが合成されることを理解する。 ・酵素の触媒作用と基質特異性について理解する。 ・生体内の化学反応が、酵素のはたらきによって進行していることを理解する。 ・実験「カタラーゼのはたらき」を行い、酵素の性質を確かめる。 ・植物が有機物を得る方法について説明できる。 ・呼吸と光合成に関心をもち、主体的に学習に取り組む。 ・DNAの構造および塩基の相補性を理解する。 ・DNAの塩基配列が遺伝情報となっていることを理解する。 ・実験「DNAの抽出」を行い、生物の細胞内に含まれるDNAを抽出する。 ・DNA構造の模式図をもとに、DNAが4種類の塩基からなること、塩基の結合の相補性に気づき、説明できる。 ・遺伝情報とDNAに関心をもち、主体的に学習に取り組む。 ・DNAが半保存的複製という方法によって正確に複製されることを理解する。 ・体細胞分裂の過程でDNAが複製され、分配されることを理解する。 ・複製前後のDNA様式図を比較し、DNAの正確な複製には塩基の相補性が利用されていることに気づき、説明できる。 ・遺伝情報の複製と分配に関心をもち、主体的に学習に取り組む。	○	○	○	
6	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝情報を含む物質—DNA 2 DNAの構造 ＜実験＞DNAの抽出 第2節 遺伝情報の複製と分配 1 細胞周期とDNA 2 遺伝情報の複製 3 遺伝情報の分配 【期末考査】	・顕微鏡の使い方と顕微鏡観察 ・観察「さまざまな生物の細胞の観察」を行い、さまざまな生物に、細胞からできているという共通性が見られることを確かめる。 ・観察「体細胞分裂の観察」を行い、DNAの複製や分配が行われる体細胞分裂の過程を観察する。	○	○	○	知識・技能 % 思考・判断・表現 % 主体的に学習に取り組む態度 %
7	顕微鏡の使い方と顕微鏡観察 観察「さまざまな生物の細胞の観察」 観察「体細胞分裂の観察」		○	○	○	
振り返り 反省			観点別評価の割合		%	%

教科名	理科	単位数	2	使用教材	教科書：数研出版 新編生物基礎 問題集：数研出版 新編生物基礎準拠 サポートノート	
科目名	生物基礎	対象年次	1年	授業の進め方	サポートノート	
学習目標	日常生活や社会との関連を回りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもつて観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			学習方法 (留意点)	①予習：教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②授業：授業時間が最も重要。授業中に完全に理解するつもりで、質問するなど、集中して授業に臨む。 ③復習：教科書やノートを見直し、問題集を解く。 ④調査前は、問題集や学習プリントを繰り返し解く。課題には必ず取り組む。	
評価の観点	知識・理解	自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	思考・判断・表現	自然の事象・現象の中に問題を見出し、見直しをもつて観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度	
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
8	第2章 遺伝子とそのはたらき 第3節 遺伝情報の発現 1 遺伝情報とタンパク質 2 タンパク質の合成 3 細胞の分化と遺伝情報 4 遺伝子とゲノム	・DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される、転写・翻訳の過程を理解する。 ・分化した細胞では、細胞ごとに異なる遺伝子が発現していることを理解する。 ・アミノ酸配列と、それを指定するDNAの塩基配列を示した資料をもとに、塩基3個がアミノ酸1個に対応していること、塩基3個の配列が同じであればアミノ酸が指定されることに気づき、説明できる。 ・同じ遺伝情報をもつ受精卵から、異なる形やはたらきをもつ細胞が分化することに気づき、説明できる。 ・遺伝情報の発現に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 (出欠状況)
9	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 1 体内での情報伝達 2 神経系による情報の伝達と調節 3 内分泌系による情報の伝達と調節 ＜実験＞運動によるからだの状態の変化の測定 【中間調査】	・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。 ・自律神経系と内分泌系が、からだを調節するしくみを理解する。 ・実験「運動によるからだの状態の変化の測定」を行い、運動によって起こる変化を調べる。 ・運動によって心拍数が増加するしくみを考察し、説明できる。 ・体内での情報伝達と調節に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	定期考査 学習プリント 提出課題 発問評価 実験・観察 レポート
10	第2節 体内環境の維持のしくみ 1 体内環境の維持 2 血糖濃度調節のしくみ 3 血液の循環を維持するしくみ	・自律神経系と内分泌系のはたらきによって血糖濃度が調節される仕組みを理解する。 ・糖尿病の原因を理解する。 ・健康者の食事前後の血糖濃度・インスリン濃度のグラフから、血糖濃度とインスリン分泌の関係に気づき、説明できる。 ・健康者と糖尿病患者の食後の血糖濃度・インスリン濃度のグラフを比較し、糖尿病患者の血糖濃度が低下しない理由を考察し、説明できる。 ・糖尿病の原因を正しく理解したうえで、原因に応じた治療方法を考え、まとめることができる。 ・体内環境の維持のしくみに関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○ ○	○ ○	○ ○	
11	第3節 免疫のはたらき 1 からだを守るしくみ 2 自然免疫 3 適応免疫 4 免疫と健康 【期末考査】	・自然免疫・適応免疫のしくみと、それにはたらく細胞の役割を理解する。 ・免疫記憶のしくみを理解する。 ・免疫のはたらきが低下したり過剰になったりすることで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。 ・同じ抗原が2回体内に入るときの抗体産生量のグラフから、抗体産生の速さや抗体量の違いについて、説明できる。 ・免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを述べることができる。 ・免疫のはたらきに関心をもち、主体的に学習に取り組める。 ・いろいろな植生とその特徴を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	
12	第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 1 植生とその成り立ち 2 植生の遷移 3 植生の再生	・植生の遷移の過程と、遷移が進行する要因について理解する。 ・遷移の過程を示した資料をもとに、遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の樹種が交代する要因について考察し、説明できる。 ・長い年月をかけて進行する植生の遷移を調べるには、どんな方法が考えられるか、自分の考えをまとめることができる。 ・植生と遷移に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○ ○	○ ○	○ ○	
振り返り 反省		観点別評価の割合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度
			%	%	%	%

教科名	理科	単位数	2	使用教材	教科書：教研出版 新編生物基礎 問題集：教研出版 新課程 新編生物基礎準拠 サポートノート		
科目名	生物基礎	対象年次	1年	授業の進め方	教科書を中心にして学習し、学習プリントや問題集で主とめをしながら進める。 教科書にある簡単な観察、実験内容を生徒実験や演習実験などによって確認する。		
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもつて観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			学習方法 (留意点)	①予習：教科書に目を通し、記述内容を把握する。疑問や不明な点を整理する。 ②授業：授業時間が最も重要。授業中に完全に理解するつもりで、質問するなど、集中して授業に臨む。 ③復習：教科書やノートを見直し、問題集を解く。 ④考査前は、問題集や学習プリントを繰り返し解く。課題には必ず取り組む。		
評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象の中に問題を呈出し、見直しをもつて観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。		
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
1	第4章 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 1 植生とバイオーム 2 世界のバイオーム 3 日本のバイオーム ＜実習＞ 暖かさの指数によるバイオームの推測	世界および日本に見られるさまざまなバイオームが、気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。 ・日本に分布するバイオームについて理解する。 ・実習「暖かさの指数によるバイオームの推測」を行い、日本の各地域でどのようなバイオームが成立する可能性があるかを推測する。 ・気温・降水量と陸上のおもなバイオームの関係を示した資料をもとに、森林・草原・高原のいずれになるかを決める要因に気づき、説明できる。 ・日本の気候の特徴をもとに、日本に分布するバイオームについて考察し、説明できる。 ・標高の高い場所と森林が見られない理由を考察し、説明できる。 ・植生の分布とバイオームに関心をもち、主体的に学習に取り組める。	知識	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 (出欠状況含) 定期考査 学習プリント 提出課題 発問評価 実験・観察 レポート
2	第3節 生態系と生物の多様性 1 生態系の成り立ち 2 生態系における種多様性 3 生態系における生物多様性のつながり	生態系がどのように構成されているのかを理解する。 ・生態系において種多様性が維持される仕組みを理解する。 ・生態系における個体数の変化を調べた実験結果から、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。 ・生態系と生物の多様性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	知識	○ ○	○ ○	○	
3	第4節 生態系のバランスと保全 1 生態系のバランス 2 人間生活と生態系 3 生態系の保全	生態系のバランスが保たれているとはどのような状態かを理解する。 ・生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解する。 ・生活排水の流入による生物の個体数と水質の変化のグラフをもとに、自然浄化のしくみを考察し、説明できる。 ・外来生物の移入前後の在来魚の漁獲量の変化を示した資料をもとに、外来生物が在来魚に与えた影響を考察し、説明できる。 ・生態系への影響が予想される開発行為について、さまざまな観点・立場で考え、解決策を提案することができる。 ・生態系のバランスと保全に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	知識	○ ○	○ ○ ○	○	
振り返り 反省			観点別評価の割合	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				%	%	%	%

教科名	保健体育	単位数	3(2)	使用教材	現代高等保健体育 教科書：大塚館書店 現代高等保健体育 副教材：大塚館書店 対抗アゲル 高校体育 2023					
科目名	体育	対象年次	1年(Aコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。					
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に合った課題を定めて解決することにより、運動の楽しさや喜びを感じさせる。また、運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健康にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるように指導する。</p>									
評価の観点	<p>知識・技能 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにし、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p>									
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法				
8	<サッカー> ・集団技能練習 攻撃・守備フォーメーション、セットプレー練習等 ・試合 個人・集団技能を合わせて、安全に留意してプレー	<input type="checkbox"/> 集団技能を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 味方の位置を把握し、プレーすることができる <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明・行動できる <input type="checkbox"/> 審判を行うことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> チームで協力して活動している <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 定期考査				
9	<器械運動> ・マット運動、並び箱 ・基礎技能(屈伸系種目) ・発展系(伸身系種目)	<input type="checkbox"/> 準備運動をしっかりと行うことができる <input type="checkbox"/> 自分の能力に適した課題を選択することができる <input type="checkbox"/> 段階的に練習することができる <input type="checkbox"/> 回転系の技でつま先、膝を伸ばして行える <input type="checkbox"/> 形を崩さず技を行える <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 仲間と協力して、技能の向上に努めている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 補助などを行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
10	<バスケットボール> ・個人技能 (パス、シュート、ドリブル) ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせて行う)	<input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 味方の位置を把握して、プレーできる <input type="checkbox"/> ゲームにおいて自分の役割を把握し、説明できる <input type="checkbox"/> 個人プレーではなく、集団プレーを行っている <input type="checkbox"/> 声掛けを行っている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
11	<体育理論(スポーツの発祥と発展)> ・スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツの高深さとドーピング ・スポーツと環境	<input type="checkbox"/> スポーツの経済的価値について説明できる <input type="checkbox"/> フェアプレイ、スポーツ精神を説明できる <input type="checkbox"/> スポーツと環境問題の関係を説明できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 発問評価 定期考査				
12										
振り返り 反省	観点別評価の割合					<table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td>40%</td> </tr> </table>	知識・技能	30%	主体的に学習に取り組む態度	40%
知識・技能	30%									
主体的に学習に取り組む態度	40%									

教科名	保健体育	単位数	3(2)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 ｽﾀｰﾌﾞﾗｲﾌﾞ 高校ｽﾀｰﾌﾞﾗｲﾌﾞ 2023
科目名	体育	対象年次	1年(Aコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に応じた課題を定めて解決することができるようになり、運動の楽しさや喜びを感じさせる。また、運動技能を高めることができるようになり、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるようを目指す。</p>				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> ＜体づくり運動＞ ・体ほぐしの運動 音楽に乗った律動的な運動(イス取りゲーム等) 静的な運動(ストレッチ等) ・体力を高める運動 動きを連続させる運動等(集団大縄飛び) ｽﾍﾞｰﾃﾞｰﾊﾞｰﾌﾞﾗｲﾌﾞに動いている 	<ul style="list-style-type: none"> □自己の心や体の状態に基づいているか □体の動きを察している □仲間との交流を豊かにしている □動きを待っている □ｽﾍﾞｰﾃﾞｰﾊﾞｰﾌﾞﾗｲﾌﾞに動いている □巧みに動いている 	○	○	○
2	<ul style="list-style-type: none"> ＜バスケットボール＞ ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせて行う) ＜バドミントン＞ ・個人技能 (各種ストローク、サーブ、ルールなど) ・集団技能 (攻撃側と守備側のパートナーとの連携) 	<ul style="list-style-type: none"> □味方の位置を把握して、プレーできる □安全に課題に取り組むことができる □個人プレーではなく、集団プレーを行っている □準備片付けなど、積極的に取り組んでいる □個人的技能を修得することができる □安全に課題に取り組むことができる □ルールを理解している □自分の役割を理解し、説明することができる □準備片付けなど、積極的に取り組んでいる 	○	○	○
3	<ul style="list-style-type: none"> ＜赤スキー(クロスカントリー)＞ ・用具のつけ方 (スキーブーツ、スキー板、ストック) ・基本動作 (転び方、歩き方、体置移動) 	<ul style="list-style-type: none"> □用具を正しく身につけられる □用具の片付け方を理解している □正しい構えをとることができる □基本動作を正確に行える □スムーズに体置移動を行える □安全に留意して、行うことができる 	○	○	○
振り返り 反省	観点別評価の割合		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			30%	30%	40%

【学年末考査】

授業態度(出席状況含む)
技能テスト
定期考査

教科名	保健体育	単位数	3(1)	使用教材	現代高等保健体育 副教材: スラップアップ高校体育 2023 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。				
科目名	体育(武道)	対象年次	1年(Aコース)	授業の進め方					
学習目標	剣道における基本動作、基本打突を正しく学び、得意技を増やし効果的な技を身につけさせる。また、有効打突の意味を理解し、試合をすることが出来る。さらに、対人技能を正しく身につける活動を通して、公正、協力、責任などの態度を育てることを目標とする。								
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度					
月	学習内容・ねらい								
4	<剣道における基本・礼法> ・防具のつけ方 (手ぬぐい・垂・胴・面のつけ方) ・礼儀作法、蹲居の姿勢 (正座・座礼・立礼・自然体・蹲居の仕方)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を提示し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	<input type="checkbox"/> 剣道における礼法を身につけ、実践できる <input type="checkbox"/> 防具を正しく身につけられる <input type="checkbox"/> 蹲居の姿勢がうまくできる <input type="checkbox"/> 竹刀を正しく握ることができる <input type="checkbox"/> 防具の片付け方を理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
5	<基本動作> ・構え、体さばき、素振り <基本打突> ・正面打ち、小手打ち、胴打ち、突き	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようになる。また、多様な状況や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	<input type="checkbox"/> 気剣体の一致を理解し、説明できる <input type="checkbox"/> 送り足で前後左右スムーズに動ける <input type="checkbox"/> 上下、斜め、胴の素振りを正しく行える <input type="checkbox"/> 面、小手、胴を打つことができる <input type="checkbox"/> 間合いや体さばきを理解して実践できる <input type="checkbox"/> 竹刀や防具の打たせ方を理解している <input type="checkbox"/> 正しい構えをとることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
6	<対人的技能> ・攻め、隙への打突、出ばな技、しかけ技、応じ技 ・「構えの隙」「守りの隙」への打突 ・攻めからの基本技	対人的技能の意味を理解した技になっている 隙を見つけての理解し、行動に移せる 面、小手、胴を目的に応じ、打たせられる 1つの技を正確に行うことができる 姿勢をまっすぐに構えることができる 基本動作を正確に行える 打突後も勢いを出し続けられる 迷わず、素早く打つことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
7	<約束稽古> ・打つ役、打たせ役を決め、技の習得を図る	自己の能力に応じた技に取り組めている 技の仕組みを理解し、効果的な稽古ができる どの状況でも剣先は相手ののどに向いている 対人的技能の意味を理解した技になっている 約束稽古の意味を理解し実践できている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%	思考・判断・表現	30%	主体的に学習に取り組む態度	40%

授業態度(出席状況含む)
技能テスト
定期考査

教科名	保健体育	単位数	3(1)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 スパリアップ高校版 2023 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
科目名	体育(武道)	対象年次	1年(Aコース)	授業の進め方	
学習目標	剣道における基本動作、基本打突を正しく学び、得意技を増やし効果的な技を身につけさせる。また、有効打突の意味を理解し、試合をすることができ、さらに、対人技能を正しく身につける活動を通して、公正、協力、責任などの態度を育てることを目標とする。			学習方法 (留意点)	・剣道の防具、竹刀等を準備する ・3学期以降は安全面に配慮し、球技を実施する。
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
月	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになる。また、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	学習内容・ねらい	評価の観点	評価の方法	
8-9	<対人的技能> ・攻め、隙への打突、出ばな技、しかけ技、応じ技 ・「構えの隙」守りの隙への打突 ・攻めからの基本技	□対人的技能の意味を理解した技になっている □隙を見つけての理解し、行動に移せる □面、小手、胴を目的に応じ、打たせられる □1つの技を正確に行うことができる □姿勢をまっすぐに構えることができる □基本動作を正確に行える □打突後も勢いを出し続けられる □迷わず、素早く打つことができる	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考・判断・表現 <input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度		
10	<約束稽古> ・打つ役、打たせ役を決め、技の習得を図る	□自分の能力に応じた技に取り組んでいる □技の状況でも剣先は相手ののどに向いている □対人的技能の意味を理解した技になっている □約束稽古の意味を理解し実践できている	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考・判断・表現 <input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度		授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査
11	<攻めと守りの試合> <技を限定した試合>	□自分から進んで攻めることができる □限られた技を有効に利用できる □技に応じた動きを実践することができる □連続技を使って攻めることができる □剣先を上下に使う攻めることができる □ルールを理解している	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考・判断・表現 <input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度		
12	<簡易試合> <自己評価>	□攻めと守りの切り替えができる □安全に留意して、行うことができる □ルールを理解し、審判を行うことができる □礼法を正しく行うことができている □得意技を中心とした試合展開ができている □課題の達成度・反省、剣道を理解できている	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考・判断・表現 <input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度		
振り返り 反省			知識・技能 30% 思考・判断・表現 30% 主体的に学習に取り組む態度 40%	観点別評価の割合	

教科名	保健体育	単位数	3(1)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 スパ・アップ 高校ボクシング 2023 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
科目名	体育(武道)	対象年次	1年(Aコース)	授業の進め方	
学習目標	剣道における基本動作、基本打突を正しく学び、得意技を増やし効果的な技を身につけさせる。また、有効打突の意味を理解し、試合をすることが出来る。さらに、対人技能を正しく身につける活動を通して、公正、協力、責任などの態度を育てることを目標とする。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	
月	学習内容・ねらい				
1	<バドミントン> ・個人技能 (各種ストローク、サービス、ルールなど) ・集団技能 (攻撃側と守備側のパートナーとの連携)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を案出し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
2	<バスケットボール> ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせて行う)	<input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 安全に課題を取り組むことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる			
3	【学年末考査】				
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能 30%	思考・判断・表現 30%
				主体的に学習に取り組む態度 40%	

教科名	保健体育	単位数	3	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 ストップアップ高校ボール 2023 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。				
科目名	体育	対象年次	1年(日コース)	授業の進め方					
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に応じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感じる。また、運動技能を高めることができるようになり、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるようにより指導する。</p>								
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度					
月	単元・学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法				
4	<p><集団行動></p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢、方向転換、集合、列の増減、行進、足ぶみ、礼、開列 <p><体づくり運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ストレッチャ、手軽なリズム運動 <p><ダンス></p> <ul style="list-style-type: none"> 民謡 こぎりこ(手踊り) 	<input type="checkbox"/> 集団行動の行動様式を実践することができる <input type="checkbox"/> 集団の約束、決まりを守って行動する <input type="checkbox"/> 仲間と積極的に交流を図っている <input type="checkbox"/> 意識的に体を大きく動かすことができる <input type="checkbox"/> 音楽に合わせて振付をすることができる <input type="checkbox"/> 感情を込めた繊細な踊りをするすることができる <input type="checkbox"/> 動きの修正や確認ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査				
5	<p><陸上競技></p> <ul style="list-style-type: none"> 短距離走(50m~100m) スタート練習、中間疾走、フィニッシュ 長距離走 ランニングフォーム、ペース走 	<input type="checkbox"/> 自己の体力・能力を最大限に発揮できる <input type="checkbox"/> 各区間の技術が向上している <input type="checkbox"/> 記録を客観的に置き換えることができる <input type="checkbox"/> 一定のペースを保つことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
6	<p><バレーボール></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人技能 (トス、スパイク、サーブ、ブロック) 集団技能 (ブロックシステム、レシーブの関係作り) 試合(個人技能と集団技能を組み合わせて行う) 	<input type="checkbox"/> 自分たちの実情にあったチーム作りができる <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 審判、副審、線審をすることができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
7	<p><体育理論(スポーツの発祥と発展)></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 	<input type="checkbox"/> スポーツの始まりについて説明できる <input type="checkbox"/> スポーツへの多様ななかかわり方を説明できる <input type="checkbox"/> オリンピックとパラリンピックの意義を説明できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 発問評価 定期考査				
振り返り反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%	思考・判断・表現	30%	主体的に学習に取り組む態度	40%

教科名	保健体育	単位数	3	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 スポーツマガジン 高校スポーツ 2023 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。	
科目名	体育	対象年次	1年(Bコース)	授業の進め方		
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に応じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感ぜさせる。また、運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるように指導する。</p>					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
月	単元・学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
8	<p><バレーボール></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人技能 (トス、スパイク、サーブ、ブロック) 集団技能 (ブロックシステム、レシーブの関係作り) 試合(個人技能と集団技能を組み合わせて行う) 	<input type="checkbox"/> 自分たちの実情にあったチーム作りができる <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 審判、副審、総審をすることができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
9						
10	<p><器械運動></p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動、跳び箱 基礎技能(屈伸系種目) 発展系(伸身系種目) 	<input type="checkbox"/> 準備運動をしっかり行うことができる <input type="checkbox"/> 自分の能力に適した課題を選択することができる <input type="checkbox"/> 段階的に練習することができる <input type="checkbox"/> 回転系の技でつま先、膝を伸ばして行える <input type="checkbox"/> 形を崩さず技を行える <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 仲間と協力して、技能の向上に努めている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 補助などを行えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 定期考査	
11						
12	<p><体育理論(スポーツの発祥と発展)></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高深さとドーピング スポーツと環境 	<input type="checkbox"/> スポーツの経済的価値について説明できる <input type="checkbox"/> フェアプレイ、スポーツ精神を説明できる <input type="checkbox"/> スポーツと環境問題の関係を説明できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 発問評価 定期考査	
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				30%	30%	40%

教科名	保健体育	単位数	3	使用教材	現代高等保健体育 スタアアップ高校体育 2023
科目名	体育	対象年次	1年(Bコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に応じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感じさせる。また、運動技能を高めることができるようになり、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まり事を守れるよう指導する。</p>				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<p><体づくり運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・音楽に乗った律動的な運動(イス取りゲーム等) ・静的な運動(ストレッチ等) ・体力を高める運動 ・動きを持続させる運動等(集団大縄飛び) ・スピードキー・パワフルな動きができる能力を高める運動(馬跳び) 	<p>□自己の心や体の状態に気づいているか</p> <p>□体の調子を察えている</p> <p>□仲間との交流を豊かにしている</p> <p>□動きを持続している</p> <p>□スピードキー・パワフルに動いている</p> <p>□巧みに動いている</p>	○	○	○
2	<p><バスケットボール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人技能 (パス、シュート、ドリブル) ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせて行う) 	<p>□味方の位置を把握して、プレーできる</p> <p>□ゲームにおいて自分の役割を把握し、説明できる</p> <p>□個人プレーではなく、集団プレーを行っている</p> <p>□声掛けを行えている</p> <p>□準備片付けなど、積極的に取り組んでいる</p> <p>□安全に課題を取り組むことができる</p> <p>□ルールを理解している</p>	○	○	○
3	<p><歩くスキー(クロスカントリー)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具のつけ方 (スキーブーツ、スキー板、ストック) ・基本動作 (転び方、歩き方、体重移動) 	<p>□用具を正しく身につけられる</p> <p>□用具の片付け方を理解している</p> <p>□正しい構えをとることができる</p> <p>□基本動作を正確に行える</p> <p>□スムーズに体重移動を行える</p> <p>□安全に留意して、行うことができる</p>	○	○	○
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%
				思考・判断・表現	30%
				主体的に学習に取り組む態度	40%

教科名	保健体育	単位数	3(2)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 びんがアツ、高校ボート 2022
科目名	体育	対象年次	2年(Aコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に合った課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感じさせる。また、運動技能を高めることができるようになり、生活を明るく健康にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるように指導する。</p>				
評価の観点	<p>知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにし、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p>				
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	<p><集団行動> ・姿勢、方向転換、集合、列の増減、行進、足ぶみ、礼、開列 <体づくり運動> ・体ほぐしの運動 音楽に乗った律動的な運動 静的な運動(ストレッチ等) <ダンス> ・民謡 こきりに(ささら踊り)</p>	<p>○ 集団行動の行動様式を実践することができる ○ 集団の約束、決まりを守って行動する ○ 自分の心や体の状態に基づいている ○ 体の調子を整えている ○ 仲間との交流を豊かにしている ○ 動きを待っている ○ 曲調に合わせて感情を込めて踊ることができる ○ ささらをうまく使うことができる ○ 振付に動と静のメリハリをつけることができる</p>		○	○
5	<p><陸上競技> ・短距離走(50m～100m) スタート練習、中間疾走、フィニッシュ ・長距離走(3000m程度) ランニングフォーム、ペース走</p>	<p>○ 自分の体力・能力を最大限に発揮できる ○ 各区間の技術が向上している ○ 記録を客観的に置き換えることができる ○ 一定のペースを保つことができる</p>		○	○
6	<p><サッカー> ・個人技能練習 ドリブル・パス・シュート練習 ・集団技能練習 攻撃・守備フォーメーション、セットプレー練習等 ・試合 個人技能・集団技能を合わせて、安全に留意してプレー</p>	<p>○ 個人技能を修得することができる ○ 集団技能を理解し、説明することができる ○ 味方の位置を把握し、プレーすることができる ○ 自分の役割を理解し、説明・行動することができる ○ 協働・協力して活動することができる ○ ルールを理解している ○ 準備後片付けなど、積極的に取り組んでいる ○ 審判を行うことができる</p>		○	○
7	<p><体育理論(運動・スポーツの学び方)> ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習</p>	<p>○ 技能と体力の関係について説明できる ○ メディアの発達による技術や戦術の変化を説明できる ○ 技能の上達にはどのような過程があるか説明できる</p>		○	○
振り返り反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%
				主体的に学習に取り組む態度	40%

教科名	保健体育	単位数	3(2)	使用教材	現代高等保健体育 教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 行ッアッ 高校ボール 2022		
科目名	体育	対象年次	2年(Aコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。		
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に依じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感じさせる。また、運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まり事を守れるように指導する。</p>						
評価の観点	<p>知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。また、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することにも、自己や仲間への考えを他者に伝える力を養う。</p>						
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組み態度	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組み態度	評価の方法		
8	<サッカー> ・集団技能練習 ・攻撃・守備フォーメーション、セットプレー練習等 ・試合 個人・集団技能を合わせて、安全に留意してプレー	<input type="checkbox"/> 集団技能を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 味方の位置を把握し、プレーすることができる <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明・行動できる <input type="checkbox"/> 空いている場所を埋めるなど、空間への侵入から攻防ができる <input type="checkbox"/> 協働・協力して活動することができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 準備後片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 審判を行うことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査		
9	<器械運動> ・マット運動、跳び箱 ・基礎技能(固伸系種目) ・発展系(伸身系種目)	<input type="checkbox"/> 準備運動をしっかり行うことができる <input type="checkbox"/> 自分の能力に適した課題を選択することができる <input type="checkbox"/> 段階的に練習することができる <input type="checkbox"/> 回転系の技でつま先、膝を伸ばして行える <input type="checkbox"/> 形を崩さず技を行える <input type="checkbox"/> 安全に課題を取り組むことができる <input type="checkbox"/> 仲間と協力して、技能の向上に努めている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 補助などを行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
10	<バスケットボール> ・個人技能 (パス、シュート、ドリブル) ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせて行う)	<input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 味方の位置を把握して、プレーできる <input type="checkbox"/> ゲームにおいて自分の役割を把握し、説明できる <input type="checkbox"/> 個人プレーではなく、集団プレーを行っている <input type="checkbox"/> 声掛けを行っている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 安全に課題を取り組むことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
11	<体育理論(運動・スポーツの学びかた)> ・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保	<input type="checkbox"/> 体の動きはどのような仕組みで開始され、持続していくのか説明できる <input type="checkbox"/> 目的に応じたさまざまなトレーニング方法について説明できる <input type="checkbox"/> スポーツ活動中に起こる事故の発生要因と予防方法について説明できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 発問評価 定期考査		
12							
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%	主体的に学習に取り組み態度	40%

教科名	保健体育	単位数	3(2)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 ｽﾀｯﾌﾟｱｯﾌﾟ 高校ｽﾀｲﾙ-ｼﾞ 2022					
科目名	体育	対象年次	2年(Aコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。					
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技術に伸ばした課題を定めて解決することにより、運動的な解決に向けて運動を豊かに継続することができるようになり、生活をもっと健康にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるように指導する。</p>									
評価の観点	<p>知識・技能 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにし、生活をもっと健康にする態度を身に付けるようにする。</p>									
月	単元・学習項目	<p>学習内容・ねらい</p>								
1	<p><体づくり運動> ・体ほぐしの運動 音楽に乗った律動的な運動(イス取りゲーム等) ・精神的な運動(ストレッチャ等) ・体力を高める運動 動きを継続させる運動等(集団大縄飛び) ｽﾍﾟｰｼﾞｰﾊﾞｰﾊﾞｰﾙな動きができる能力を高める運動(馬跳び)</p>	<p><input type="checkbox"/> 自己の心や体の状態にきづいているか <input type="checkbox"/> 体の調子を整えている <input type="checkbox"/> 仲間との交流を豊かにしている <input type="checkbox"/> 動きを継続している <input type="checkbox"/> スﾍﾟｰｼﾞｰﾊﾞｰﾊﾞｰﾙに動いている <input type="checkbox"/> 巧みに動いている</p>	<p><input type="checkbox"/> 味方の位置を把握して、プレーできる <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 個人プレーではなく、集団プレーを行っている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/> 用具を正しく身につけられる <input type="checkbox"/> 用具の片付け方を理解している <input type="checkbox"/> 正しい構えをとることができる <input type="checkbox"/> 基本動作を正確に行える <input type="checkbox"/> スムーズに体重移動を行える <input type="checkbox"/> 安全に留意して、行うことができる</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>		
2	<p><バスケットボール> ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせで行う) <ノバドミントン> ・個人技能 (各種ストローク、サーブミス、ルールなど) ・集団技能 (攻撃側と守備側のパートナーとの連携)</p>	<p><input type="checkbox"/> 〇</p>	<p><input type="checkbox"/> 〇</p>	<p><input type="checkbox"/> 〇</p>	<p>授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査</p>					
3	<p><歩くスキー(クロスカントリ)> ・用具のつけ方 (スキーブーツ、スキー板、ストック) ・基本動作 (転び方、歩き方、体重移動)</p>	<p><input type="checkbox"/> 〇</p>	<p><input type="checkbox"/> 〇</p>	<p><input type="checkbox"/> 〇</p>	<p>知識・技能</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>			
振り返り反省	<p>観点別評価の割合</p>							<p>30%</p>	<p>30%</p>	<p>40%</p>

教科名	保健体育	単位数	3(1)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 スラップアップ高校版 2022 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。	
科目名	体育(武道)	対象年次	2年(Aコース)	授業の進め方		
学習目標	剣道における基本動作、基本打突を正しく学び、得意技を増やし効果的な技を身につけさせる。また、有効打突の意味を理解し、試合をすることが出来る。さらに、対人技能を正しく身につける活動を通して、公正、協力、責任などの態度を育てることを目標とする。					
評価の観点	知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにする。運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。					
月	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
4	<剣道における基本・礼法> ・防具のつけ方 (手ぬぐい・垂・胴・面のつけ方) ・礼儀作法、蹲踞の姿勢 (正座・座礼・立礼・自然体・蹲踞の仕方)	<input type="radio"/> 剣道における礼法を身につけ、実践できる <input type="radio"/> 防具を正しく身につけられる <input type="radio"/> 蹲踞の姿勢がうまくできる <input type="radio"/> 竹刀を正しく握ることができる <input type="radio"/> 防具の片付け方を理解している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
5	<基本動作> ・構え、体さばき、素振り <基本打突> ・正面打ち、小手打ち、胴打ち、突き	<input type="radio"/> 気剣体の一致を理解し、説明できる <input type="radio"/> 送り足で前後左右スムーズに動ける <input type="radio"/> 上下、斜め、胴の素振りを正しく行える <input type="radio"/> 面、小手、胴を打つことができる <input type="radio"/> 固合いや体さばきを理解して実践できる <input type="radio"/> 竹刀や防具の打たせ方を理解している <input type="radio"/> 正しい構えをとることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査	
6	<対人的技能> ・攻め、隙への打突、出ばな技、しかけ技、応じ技 ・「構えの隙」「守りの隙」への打突 ・攻めからの基本技	<input type="radio"/> 対人的技能の意味を理解した技になっている <input type="radio"/> 隙を見つけることを理解し、行動に移せる <input type="radio"/> 面、小手、胴を目的に応じ、打たせられる <input type="radio"/> 1つの技を正確に行うことができる <input type="radio"/> 姿勢をまっすぐに構えることができる <input type="radio"/> 基本動作を正確に行える <input type="radio"/> 打突後も勢いを出し続けられる <input type="radio"/> 迷わず、素早く打つことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
7	<約束稽古> ・打つ役、打たせ役を決め、技の習得を図る	<input type="radio"/> 自己の能力に応じた技に取り組んでいる <input type="radio"/> 技の仕組みを理解し、効果的な稽古ができる <input type="radio"/> どの状況でも剣先は相手ののどに向いている <input type="radio"/> 対人的技能の意味を理解した技になっている <input type="radio"/> 約束稽古の意味を理解し実践できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能 30%	思考・判断・表現 30%	主体的に学習に取り組む態度 40%

教科名	保健体育	単位数	3(1)	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 スパイクアップ 高校版 2022 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
科目名	体育(武道)	対象年次	2年(Aコース)	授業の進め方	
学習目標	剣道における基本動作、基本打突を正しく学び、得意技を増やし効果的な技を身につけさせる。また、有効打突の意味を理解し、試合をすることができ、さらに、対人技能を正しく身につける活動を通して、公正、協力、責任などの態度を育てることを目標とする。				
評価の観点	知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。				
月	主体的に学習に取り組む態度 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。				
月	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
8・9	<対人的技能> ・攻め、隙への打突、出ばな技、しかけ技、応じ技 ・「構えの隙」「守りの隙」への打突 ・攻めからの基本技	<input type="checkbox"/> 対人的技能の意味を理解した技になっている <input type="checkbox"/> 隙を見つけてることを理解し、行動に移せる <input type="checkbox"/> 面、小手、胴を目的に応じ、打たせられる <input type="checkbox"/> 1つの技を正確に行うことができる <input type="checkbox"/> 姿勢をまっすぐに構えることができる <input type="checkbox"/> 基本動作を正確に行える <input type="checkbox"/> 打突後も勢いを出し続けられる <input type="checkbox"/> 迷わず、素早く打つことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	<約束稽古> ・打つ役、打たせ役を決め、技の習得を図る	<input type="checkbox"/> 自己の能力に応じた技に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 技の仕組みを理解し、効果的な稽古ができる <input type="checkbox"/> どの状況でも剣先は相手ののどに向いている <input type="checkbox"/> 対人的技能の意味を理解した技になっている <input type="checkbox"/> 約束稽古の意味を理解し実践できている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査
11	<攻めと守りの試合> <技を限定した試合>	<input type="checkbox"/> 自分から進んで攻めることができる <input type="checkbox"/> 限られた技を有効に利用できる <input type="checkbox"/> 技に応じた動きを実践することができる <input type="checkbox"/> 連続技を使って攻めることができる <input type="checkbox"/> 剣先を上下に使用して攻めることができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	<簡易試合> <自己評価>	<input type="checkbox"/> 攻めと守りの切り替えができる <input type="checkbox"/> 安全に留意して、行うことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解し、審判を行うことができる <input type="checkbox"/> 礼法を正しく行うことができている <input type="checkbox"/> 得意技を中心とした試合展開ができている <input type="checkbox"/> 課題の達成度・反省、剣道を理解できている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
振り返り 反省	観点別評価の割合 知識・技能 30% 思考・判断・表現 30% 主体的に学習に取り組む態度 40%				

教科名	保健体育	単位数	3(1)	使用教材	現代高等保健体育 副教材：大修館書店 スリッパ・アップ・高校体育 2022 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
科目名	体育(武道)	対象年次	2年(Aコース)	授業の進め方	
学習目標	剣道における基本動作、基本打突を正しく学び、得意技を増やし効果的な技を身につけさせる。また、有効打突の意味を理解し、試合をすることができ、さらに、対人技能を正しく身につける活動を通して、公正、協力、責任などの態度を育てることを目標とする。			学習方法 (留意点)	・剣道の防具、竹刀等を準備する ・3学期以降は安全面に配慮し、球技を実施する。
評価の観点	知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。			思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
月		学習内容・ねらい		知識・技能	評価の方法
1	<バドミントン> ・個人技能 (各種ストローク、サービス、ルールなど) ・集団技能 (攻撃側と守備側のパートナーとの連携)	個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 安全に課題を取り組むことができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる		主体的に学習に取り組む態度	
2	<バスケットボール> ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせる)	<input type="checkbox"/> 味方の位置を把握して、プレーできる <input type="checkbox"/> 安全に課題を取り組むことができる <input type="checkbox"/> 個人プレーではなく、集団プレーを行っている <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる			
3		[学年末調査]			
振り返り 反省		観点別評価の割合		知識・技能 30%	思考・判断・表現 30%
					主体的に学習に取り組む態度 40%

教科名	保健体育	単位数	3	使用教材	現代高等保健体育	
					教科書	大修館書店
科目名	体育	対象年次	2年(Bコース)	授業の進め方	スリッパアップ 高校バレー 2022	
学習目標	各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技術に応じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感ぜさせる。また、運動技術を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるように指導する。	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。				
評価の観点	知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるように、生活の質を高めることを目指す。 多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組み態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の速いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に楽しむ態度を養う。			
月	単元・学習項目	評価の観点			評価の方法	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み態度		
4	<集団行動> ・姿勢、方向転換、集合、列の増減、行進、足ぶみ、礼、開列 <体づくり運動> ・体ほぐしの運動 ・音楽に乗った律動的な運動(イス取りゲーム等) ・精力的な運動(ストレッチ等) <ダンス> ・民謡 こぎりに(手踊り)	<input type="checkbox"/> 集団行動の行動様式を実践することができる <input type="checkbox"/> 集団の約束、決まりを守って行動する <input type="checkbox"/> 自己の心や体の状態に基づいている <input type="checkbox"/> 体の調子を整えている <input type="checkbox"/> 仲間との交流を豊かにしている <input type="checkbox"/> 曲調に合わせて滑らかに踊ることができる <input type="checkbox"/> 感情を込めた繊細な踊りをすることができる <input type="checkbox"/> 動きの修正や確認ができる	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査
5	<陸上競技> ・短距離走(50m~100m) スタート練習、中間疾走、フィニッシュ ・長距離走 ランニングフォーム、ペース走	<input type="checkbox"/> 自己の体力・能力を最大限に発揮できる <input type="checkbox"/> 各区分の技術が向上している <input type="checkbox"/> 記録を客観的に置き換えることができる <input type="checkbox"/> 一定のペースを保つことができる	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査
6	<バレーボール> ・個人技能 (トス、スパイク、サーブ、ブロック) ・集団技能 (ブロックシステム、レシーブの関係作り) ・試合(個人技能と集団技能を組み合わせで行う)	<input type="checkbox"/> 自分たちの実情にあったチーム作りができる <input type="checkbox"/> 自分の役割を理解し、説明することができる <input type="checkbox"/> 審判、副審、練習をすることができる <input type="checkbox"/> ルールを理解している <input type="checkbox"/> 個人的技能を修得することができる <input type="checkbox"/> 準備片付けなど、積極的に取り組んでいる <input type="checkbox"/> 安全に課題に取り組むことができる	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 発問評価 定期考査
7	<体育理論(運動・スポーツの学び方)> ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習	<input type="checkbox"/> 技能と体力の関係について説明できる <input type="checkbox"/> メディアの発達による技術や戦術の変化を説明できる <input type="checkbox"/> 技能の上達にはどのような過程があるか説明できる	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	<input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇 <input type="checkbox"/> 〇	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 発問評価 定期考査
振り返り 反省		観点別評価の割合			知識・技能 30% 主体的に学習に取り組み態度 40%	

教科名	保健体育	単位数	3	使用教材	現代高等保健体育 スリッアップ高校スポーツ 2022				
科目名	体育	対象年次	2年(Bコース)	授業の進め方	教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。				
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に応じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感ぜさせる。また、運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まりを守れるように指導する。</p>								
学習目標	<p>知識・技能 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。</p>								
評価の観点	<p>主体的に学習に取り組み、互いに協力する運動における競争や協働の経験を通して、公正に協力し、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の速いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>								
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組みの態度	評価の方法			
8	<p><バレーボール></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人技能 トス、スパイク、サーブ、ブロック 集団技能 ブロックシステム、レシーブの関係作り 試合(個人技能と集団技能を組み合わせで行う) 	<p>自分たちの実情にあったチーム作りができる</p> <p>自分の役割を理解し、説明することができる</p> <p>審判、副審、線審をすることができる</p> <p>ルールを理解している</p> <p>個人的技能を修得することができる</p> <p>準備片付けなど、積極的に取り組んでいる</p> <p>安全に課題に取り組むことができる</p>	○	○	○				
9									
10	<p><器械運動></p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動、跳び箱 基礎技能(屈伸系種目) 発展系(伸身系種目) 	<p>準備運動をしっかり行うことができる</p> <p>自分の能力に適した課題を選択することができる</p> <p>段階的に練習することができる</p> <p>回転系の技でつま先、膝を伸ばして行える</p> <p>形を崩さず技を行える</p> <p>安全に課題を取り組むことができる</p> <p>仲間と協力して、技能の向上に努めている</p> <p>準備片付けなど、積極的に取り組んでいる</p> <p>補助などを行えている</p>	○	○	○	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査			
11									
12	<p><体育理論(運動・スポーツの学び方)></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術 技能の上達過程と練習 	<p>技能と体力の関係について説明できる</p> <p>メディアの発達による技術や戦術の変化を説明できる</p> <p>技能の上達にはどのような過程があるか説明できる</p>	○	○	○	授業態度(出席状況含む) 学習プリント 実測評価 定期考査			
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組みの態度	30%	40%

教科名	保健体育	単位数	3	使用教材	現代高等保健体育 スタップアップ高校が-が 2022	教科書：大修館書店 副教材：大修館書店 教科書に沿って各種運動のルールと安全性について学び、実践を通して技能を身につける。
科目名	体育	対象年次	2年(Bコース)	授業の進め方		
学習目標	<p>各種の運動の合理的な実践を通して、個人の能力・技能に応じた課題を定め解決することにより、運動の楽しさや喜びを感じさせる。また、運動技能を高めることができるようにし、生活を明るく健全にする態度を育てる。集団行動を通して、集団の約束事・決まり事を守れるように指導する。</p>					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に楽しむ態度を養う。</p>		
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
1	<p><体づくり運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動 動きを継続させる運動等(集団大縄跳び) スピーディ・ハワフルな動きができる能力を高める運動(馬跳び) <p><バスケットボール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人技能 (パス、シュート、ドリブル) ・集団技能 (ゾーンディフェンス、ゾーンプレス) ・試合 (個人技能と集団技能を組み合わせて行う) 	<p>スピーディ・ハワフルに動いている</p> <p>□巧みに動いている</p> <p>□味方の位置を把握して、プレーできる</p> <p>□ゲームにおいて自分の役割を把握し、説明できる</p> <p>□個人プレーではなく、集団プレーを行っている</p> <p>□声掛けを行えている</p> <p>□準備片付けなど、積極的に取り組んでいる</p> <p>□安全に課題を取り組むことができる</p> <p>□ルールを理解している</p>	○	○	○	授業態度(出席状況含む) 技能テスト 学習プリント 定期考査
2			○	○	○	
3	<p><歩くスキー(リフトカントリー)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具のつけ方 (スキーブーツ、スキー板、ストック) ・基本動作 (転び方、歩き方、体重移動) <p>【学年末考査】</p>	<p>□用具を正しく身につけられる</p> <p>□用具の片付け方を理解している</p> <p>□正しい構えをとることができる</p> <p>□基本動作を正確に行える</p> <p>□スムーズに体重移動を行える</p> <p>□安全に留意して、行うことができる</p>	○	○	○	
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	30%	思考・判断・表現
				主体的に学習に取り組む態度	40%	

教科名	保健体育		1 1年	使用教材		教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 図説 現代高等保健 教科書を中心に実施する。	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
	保健体育	保健		単位数	対象年次				授業の進め方
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めて、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けさせる。 また、喫煙・飲酒等に興味を示す高校一年次に、正しい知識を身につけさせ、健康の保持増進に努めるように指導する。		1年	授業の進め方	①予習：教科書を読んでおく。 ②復習：ノートを自分なりにまとめる。				
評価の観点	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。			学習内容・ねらい	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。				
月	単元・学習項目			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	
4	1 単元 現代社会と健康 ①健康の考え方や成り立ち ②私たちの健康のすがた ③生活習慣病の予防と回復			学習内容・ねらい	さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる 健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる 生活習慣病の種類と要因について説明できる 生活習慣病の一次予防と二次予防について説明できる がんの種類や原因について説明できる がんの一次予防と二次予防について説明できる がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる がんに関する社会的な対策について説明できる 健康と運動の関係の説明できる 目的に応じた健康な運動のしかたについて説明できる 食事と健康の関係について説明できる 健康的な食事のとり方について説明できる				
5	④がんの原因と予防 ⑤がんの治療と回復 ⑥運動と健康 ⑦食事と健康			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		授業態度(出欠状況含) 定期考査 小テスト、学習プリント	
6	⑧休養・睡眠と健康 ⑨喫煙と健康 ⑩飲酒と健康 ⑪薬物乱用と健康			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		提出課題 ポートフォリオ 発問評価 レポート	
7	⑫精神疾患の特徴 ⑬精神疾患の予防 ⑭精神疾患からの回復			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
振り返り 反省	【期末考査】			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	
観点別評価の割合							35%	35%	40%

教科名	保健体育	単位数	1	使用教材	現代高等保健体育 副教材：大修館書店 図説 現代高等保健 教科書を中心に実施する。
科目名	保健	対象年次	1年	授業の進め方	
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めて、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけさせる。 また、喫煙・飲酒等に興味を示す高校一年次に、正しい知識を身につけさせ、健康の保持増進に努めるように指導する。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力あるの生活を営む態度を養う。	
月	単元・学習項目	評価の観点		評価の方法	
8	⑮現代の感染症	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9	⑯感染症の予防	学習内容・ねらい □感染症とは何かについて説明できる □新興感染症と再興感染症が流行する要因を説明できる	○	○	
10	⑰⑱感染症・エイズとその予防 ⑲健康に関する意思決定・行動選択	□感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる □感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる □性感染症・エイズが他の感染症と異なる点について説明できる □予防と対策を個人と社会に分けて、例をあげることができる □意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる □適切な意思決定・行動選択の際の工夫について説明できる	○	○	授業態度(出欠状況含) 定期考査 小テスト、学習プリント 提出課題 ポートフォリオ
11	⑲健康に関する環境づくり 2単元 安全な社会生活 ①事故の現状と発生要因 【期末考査】	□社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる □ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる □事故の実態と被害の突発性について説明できる □事故には様々な要因が関連していることについて説明できる	○	○	発問評価 レポート
12	⑳安全な社会の形成	□安全のために必要な個人の行動について説明できる □安全を確保するために必要な環境整備について説明できる	○	○	
振り返り 反省	観点別評価の割合		35%	35%	主体的に学習に取り組む態度 40%

教科名	保健体育	単位数	1	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 図説 現代高等保健 教科書を中心に実施する。							
科目名	保健	対象年次	1年	授業の進め方								
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めて、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけさせる。 また、喫煙・飲酒等に興味を示す高校一年次に、正しい知識を身につけさせ、健康の保持増進に努めるように指導する。											
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい			評価の方法							
1	③交通における安全 ④応急手当の意義とその基本	<input type="checkbox"/> 交通事故防止における取り組みについて説明できる <input type="checkbox"/> 交通事故における責任を3つに分けて説明できる <input type="checkbox"/> 応急手当の意義について説明できる <input type="checkbox"/> 傷病者の確認・観察するポイントをあげることができる			○	○	授業態度(出欠状況含) 定期考査 小テスト、学習プリント 提出課題 レポート 発問評価					
2	⑤日常的な応急手当	<input type="checkbox"/> 応急手当の手順や方法について説明できる <input type="checkbox"/> 実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる			○	○						
3	⑥心肺蘇生法	<input type="checkbox"/> 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる <input type="checkbox"/> 実際に、心肺蘇生法を行うことができる			○	○						
振り返り 反省	【学年末考査】			観点別評価の割合		<table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td>40%</td> </tr> </table>	知識・技能	35%	思考・判断・表現	35%	主体的に学習に取り組む態度	40%
知識・技能	35%											
思考・判断・表現	35%											
主体的に学習に取り組む態度	40%											

教科名	保健体育		1 2年	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 図説 現代高等保健 教科書を中心に実施する。		
	単位数	対象年次					
科目名	保健		2年	授業の進め方			
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めて、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけさせる。 思春期の男女の変化や老後までの将来設計の立て方、人々が健康に生きていくための周囲の自然環境や健康問題について学び、実践力を養う。			①予習：教科書を読んでおく。 ②復習：ノートを自分なりにまとめる。			
評価の観点	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
月	単元・学習項目		学習内容・ねらい		評価の方法		
4	3単元 生涯を通じる健康 ①ライフステージと健康 ②思春期と健康 ③性意識と性行動の選択		<input type="checkbox"/> ライフステージと健康の関連について説明できる <input type="checkbox"/> 各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる <input type="checkbox"/> 思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる <input type="checkbox"/> 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる <input type="checkbox"/> 性意識の男女差について例をあげて説明できる <input type="checkbox"/> 性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	授業態度(出欠状況含) 定期考査 小テスト、学習プリント
5	④妊娠・出産と健康 ⑤避妊法と人工妊娠中絶 ⑥結婚生活と健康		<input type="checkbox"/> 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる <input type="checkbox"/> 妊娠・出産期に活用できる母児健康サービスの例をあげることができる <input type="checkbox"/> 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる <input type="checkbox"/> 人工妊娠中絶が心身及ぼす影響について説明できる <input type="checkbox"/> 心身の発達と結婚生活の関係について説明できる <input type="checkbox"/> 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	提出課題 ポートフォリオ 発問評価 レポート
6	⑦中高年期と健康 ⑧働くことと健康 ⑨労働災害と健康		<input type="checkbox"/> 加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる <input type="checkbox"/> 高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる <input type="checkbox"/> 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる <input type="checkbox"/> 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる <input type="checkbox"/> 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる <input type="checkbox"/> 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
7	⑩健康的な職業生活		<input type="checkbox"/> 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる <input type="checkbox"/> 余暇を積極的にとることの意義について説明できる		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
振り返り 反省			観点別評価の割合		35%	35%	30%

教科名	保健体育		1 2年	使用教材	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 図説 現代高等保健 教科書を中心に実施する。	評価の方法
	保健	単位数 対象年次				
科目名	保健			授業の進め方		
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めて、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけさせる。 思春期の男女の変化や老後までの将来設計の立て方、人々が健康に生きていくための周囲の自然環境や健康問題について学び、実践力を養う。			学習方法 (留意点)	①予習：教科書を読んでおく。 ②復習：ノートを自分なりにまとめる。	
評価の観点	知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。			思考・判断・表現 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指すし、明るく豊かで活力あるの生活を営む態度を養う。	
月	単元・学習項目			学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現
8	4単元 健康を支える環境づくり					
9	①大気汚染と健康 ②水質汚濁、土壌汚染と健康			大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みについて説明できる	○	○
10	③環境と健康にかかわる対策			環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる 産業廃棄物の処理について説明できる	○	○
11	④ごみの処理と上下水道の整備 ⑤食品の安全性		【期末考査】	ごみの処理の現状やその課題について説明できる 上下水道の仕組みと健康にかかわる課題を説明できる 食品の安全性と健康にかかわりについて説明できる 食品の安全性に関する今日の課題について説明できる	○	○
12	⑤食品の安全性 ⑥食品衛生にかかわる活動			食品の安全性と健康のかかわりについて説明できる 食品の安全性に関する今日の課題について説明できる 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる 食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる	○	○
振り返り 反省				観点別評価の割合	知識・技能 35%	
					思考・判断・表現 35%	主体的に学習に取り組む態度 30%

教科名	保健体育		1 2年	使用教材 授業の進め方 学習方法 (留意点)	教科書：大修館書店 現代高等保健体育 副教材：大修館書店 図説 現代高等保健 教科書を中心に実施する。	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
	単位数 対象年次	知能・技能 思考・判断・表現					主体的に学習に 取り組む態度	思考・判断・表現 知識・技能
科目名	保健							
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深めて、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけさせる。 思春期の男女の変化や老後までの将来設計の立て方、人々が健康に生きていくための周囲の自然環境や健康問題について学び、実践力を養う。							
評価の観点	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。							
月	単元・学習項目			学習内容：ねらい				
1	⑦保健サービスとその活用 ⑧医療サービスとその活用			□保健行政の役割について例をあげて説明できる □保健サービスの活用の例をあげることができる □わが国における医療保険のしくみについて説明できる □さまざまな医療機関の役割について説明できる				授業態度(出欠状況含) 定期考査 小テスト、学習プリント 提出課題 レポート 発問評価
2	⑨医薬品の制度とその活用			□医薬品の正しい使用方法について説明できる □医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる				
3	⑩さまざまな保健活動や社会的対策 ⑪健康に関する環境づくりと社会参加		【学年末考査】	□国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる □行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる □健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる □環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる				
振り返り 反省							観点別評価の割合	知識・技能 35% 思考・判断・表現 35% 主体的に学習に取り組む態度 30%

教科名	芸術	単位数		使用教材	教科書：MOUSAI (教育芸術社)	
		2	1年			
科目名	音楽 I	対象年次		授業の進め方		
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、生涯にわたり音楽を愛好する新庄を育むとともに音楽文化についての理解を深め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
8	映画と音楽が一体化していることを知ろう 魔法使いの弟子	音楽を元につけられたアニメーションを見ることが、曲への理解を深めると音楽の効果と映像の繋がりを学び、解釈の幅を広げる。	○	○	○	観察、ワークシート
9	奏楽を工夫してギターを弾こう ・日曜日よりの使者	曲種とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体的使用い方の技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する。	○	○	○	観察、発表
10	ドイツ語の歌を歌おう 歌詞の意味を理解し、ドイツ語の語感を生かして独唱しよう Heidenröslein 楽典について勉強しよう ・音程 ・コード	ドイツ歌曲に触れ、歴史・文化的な背景や旋律の特徴をとらえて歌おう。 音楽の基礎を学び、音楽の構造・技能を学ぶ。	○	○	○	観察、ワークシート、発表
11	創作 コードを使ってメロディーを作ろう 鑑賞 ・ベートーヴェン、交響曲第9番op.125《合唱付き》から第4楽章 楽典について勉強しよう ・楽語 【期末考査】	多くの曲に用いられているコード進行をもとに、音のつなげ方やフレーズのもと、重なりによる響きを理解し、様々な手法を活用しながら、イメージをもって創作する。 音楽を形作っている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解するとともに根拠をもって曲や演奏を批評する。楽典において演奏者への言葉での指示になる楽語を学び、曲の理解方や演奏技術へ活用する。	○	○	○	観察、ワークシート、発表
12	声部の動きや重なりを意識してアンサンブルしよう ・荒野の果てに	台詞やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌ったりする。技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して歌おう。	○	○	○	観察、ワークシート
振り返り 反省	観点別評価の割合		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			%	%	%	%

教科名		芸術		2		MOUSAI (教育芸術社)	
科目名		音楽 I		1年		教科書を中心にして学習し、ワークシートや補助教材を用いて進める。	
学習目標		音楽の幅広い活動を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、生涯にわたって音楽を愛好する新卒を育むとともに音楽文化についての理解を深め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		授業の進め方		授業には教科書と補助教材、ワークシートを用いる。授業後や考査前はそれらを見直し復習する。	
評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
月	単元・学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の観点		評価の方法
					知識・技能	思考・判断・表現	
1	さまざまな日本の伝統音楽とその特徴を理解し、魅力を味わおう ・雅楽 ・能 ・箏曲 ・尺八楽 楽器の奏法を身に付け奏法によって音色や響き、表情などの違いを理解しよう ・箏	曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体的使用の技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する。	和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身につけて曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。	〇	〇	〇	観察、ワークシート
2	郷土の民謡と芸能 ・各地に伝わる民謡や芸能に関心をもって、その表現の特徴を理解しよう 世界の諸民族の音楽 世界の諸民族の音楽の特徴を知り、よさや美しさを感じ取ろう 【期末考査】	日本各地に伝わる多くの民謡や芸能と私たちの生活との密接なかがわりについて親しみをもち理解を深める。	世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解し、音楽表現の共通性や固有性について考えとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して演奏する。	〇	〇	〇	観察、ワークシート
3	What is JAZZ? ジャズの特徴を理解し、響きや雰囲気味わおう	ジャズの歴史や特徴、ピアノ、ベース、ドラムスの役割、演奏の構成を理解し、響きや雰囲気味わって聴く。		〇	〇	〇	観察、ワークシート
振り返り 反省		観点別評価の割合		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				9%	9%	9%	

教科名	芸術	単位数	2		使用教材	高校美術
			美術I	1年		
科目名	美術I	1年	2		授業の進め方	鑑賞、制作(表現)、自己・相互評価
学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。 ・感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 ・表現活動を通して自己の価値観や他人の価値観を理解する態度を育む。		学習方法 (留意点)		授業の進め方	・授業の目標を明確に理解する。 ・授業ごとに制作と評価を積み重ね、表現を深める。 ・完成作品について発表・鑑賞をし、自己評価・相互評価をする。
評価の観点	デザイン、色彩、構成、材料や用具の生かし方など、創作活動にかかわる基本的な知識、技能を身につけている。		知識・技能		学習方法	各単元の学習内容を具体的に理解し、主体的に取り組むことができる。 美術作品や自己の作品のよさや美しさを感じ取り理解できる。
月	単元・学習項目		学習内容(わらい)		知識・技能	評価の方法
4	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 作品鑑賞 <input type="checkbox"/> 立方体を描く	<input type="checkbox"/> 年間を通しての美術の学習内容を理解する。 <input type="checkbox"/> 美術の多様性とその魅力を理解する。 <input type="checkbox"/> 単純な図形の着彩によって色の持つ効果を知る。	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 効果的な構図を工夫できる。 <input type="checkbox"/> 季節感を活かした制作ができる。	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など
5	<input type="checkbox"/> 風景を描く	<input type="checkbox"/> 水彩の技法を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 効果的な構図を工夫できる。 <input type="checkbox"/> 季節感を活かした制作ができる。	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など
6	<input type="checkbox"/> 絵画表現で表す想像の世界	<input type="checkbox"/> アイデアをの技法を知る。 <input type="checkbox"/> 具体的な情景設定の構想を設定し表現することができる。 <input type="checkbox"/> テーマを元に作品を制作できる。	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など
7	<input type="checkbox"/> 台評会					
振り返り 反省			観点別評価の割合		知識・技能	%
					思考・判断・表現	%
					主体的に学習に取り組む態度	%

教科名		美術		2		高校美術	
科目名		美術 I		1年		鑑賞、制作(表現)、自己・相互評価	
学習目標		<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 表現活動を通して自己の価値観や他人の価値観を理解する態度を育む。 		授業の進め方 学習方法 (留意点)		<ul style="list-style-type: none"> 授業の目標を明確に理解する。 授業ごとに制作と評価を積み重ね、表現を深める。 完成作品について発表・鑑賞をし、自己評価・相互評価をする。 	
評価の観点		知識・技能 デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方など、創作活動にかかわる基本的な知識、技能を身につけている。		思考・判断・表現 自己の追究したい主題の構想を練り、多様な表現方法の理解に基づき効果的な表現方法を工夫している。		主体的に学習に取り組む態度 本単元の学習内容や他の作品のよさや美しさを感じ取り理解できる。	
月		単元・学習項目		評価の観点		評価の方法	
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
8							
9		<input type="checkbox"/> 塑像で表す想像の世界		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10							<ul style="list-style-type: none"> 制作の初めや途中のスケッチや試作品など 学習ノートの学習計画(課題や見通し)や学習記録(自己評価、相互評価など) 制作した作品(完成後)
11		<input type="checkbox"/> 様々な技法を知る。 <input type="checkbox"/> 多様な表現の良さを感じ取る。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12		<input type="checkbox"/> イラストレーション <input type="checkbox"/> 多様な価値観を認めることができる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/> 合評会					
振り返り 反省				観点別評価の割合		知識・技能	%
						思考・判断・表現	%
						主体的に学習に取り組む態度	%

教科名	芸術	単位数	2	使用教材	高校美術						
科目名	美術 I	対象年次	1年	授業の進め方	鑑賞、制作(表現)、自己・相互評価						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。 ・感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 ・表現活動を通して自己の個性や他人の個性を理解する態度を育む。 										
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能 ・ツッパン、色彩、構成、材料や用具の生かし方など、創作活動にかかわる基本的な知識・技能を身につけている。 										
月	<p>単元・学習項目</p> <p>学習内容(わらい)</p>										
1	<p>自己の追究したい主題の構想を練り、多様な表現方法の理解に基づく効果的な表現方法を工夫している。</p>										
2	<p>単元・学習項目</p> <p>デジタルカメラを使ったアニメーションの制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アニメーションの技法や試作ソフトの活用を知る。 <input type="checkbox"/> アニメーションの良さを生かし効果的な映像表現することができる。 <input type="checkbox"/> 集団作品の良さを活かした制作ができる。 										
3	<p><input type="checkbox"/> 合評会</p>										
振り返り 反省	<p>観点別評価の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>%</td> <td>思考・判断・表現</td> <td>%</td> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td>%</td> </tr> </table>					知識・技能	%	思考・判断・表現	%	主体的に学習に取り組む態度	%
知識・技能	%	思考・判断・表現	%	主体的に学習に取り組む態度	%						
	<p>評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の状況(制作への取組の姿や態度、授業中の発言、制作の準備) ・制作の初めや途中のスケッチや試作品など ・学習ノートの学習計画(課題や見直し)や学習記録(自己評価、相互評価など) ・制作した作品(完成度) 										

教科名	外国語	単位数	3	使用教材	開隆堂 APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION I (開隆堂)				
					開隆堂 APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION I ワークブック (開隆堂)				
科目名	英語コミュニケーションI	対象年次	1	授業の進め方	予習で単語の意味を調べ、本文の意味を考える。 授業で本文の内容を理解し、文法事項を習得させる。				
学習目標	日常的・社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて捉えるとともに、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり文章にしたりして伝えることができる。				予習・新出単語の意味を辞書で調べ、本文の内容を理解しようとする。 授業：予習がしてあること前提に、本文の内容や文法事項を確認する。 復習：本文の内容を復習し、単語の意味や文法を覚え、既習事項を書いたり話したりして使ってみる。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	英語の構文や既習の文法を用いて、与えられたテーマに基づき、自分の考えや気持ちを英語で伝える。					
月	単元・学習項目	評価の観点		評価の方法					
		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
4	Lesson1: The Amazing Scenery 題材: 世界の美しい場所 形式: 報告文 ・第1文型～第5文型	英語の構文を理解し、概要や要点を身に付けている。 英語の構文を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを文章で伝える。 英語の構文を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを文章で伝えるようとしている。	○	○	学習プリント 言語活動 定期考査				
5	Lesson2: The Mysterious History of Chocolate 題材: チョコレートの歴史 形式: 報告文 ・that節 ・比較表現	英語の構文と比較を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 英語の構文と比較を用いて、好きなお菓子について、考えや気持ちを文章で伝える。 英語の構文と比較を用いて、好きなお菓子について、考えや気持ちを文章で伝えるようとしている。	○	○	学習プリント 言語活動 定期考査				
6	Lesson3: The Secrets of Top Athletes 題材: 「スポーツ掛け持ち」文化 形式: 報告文 ・現在完了形 ・現在完了進行形 ・過去完了形	さまざまな完了形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 さまざまな完了形を用いて、所属するクラブや科目について、考えや気持ちを文章で伝える。 さまざまな完了形を用いて、所属するクラブや科目について、考えや気持ちを文章で伝えるようとしている。	○	○	学習プリント 言語活動 定期考査				
7	Lesson4: Evolving Airplanes 題材: 飛行機の歴史、未来の飛行機、飛行機の楽しみ方 形式: 対話文 ・助動詞 ・受動態	助動詞や受動態を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 助動詞や受動態を用いて、英語で好きな乗り物について、考えや気持ちを文章で伝える。 助動詞や受動態を用いて、英語で好きな乗り物について、考えや気持ちを文章で伝えるようとしている。	○	○	学習プリント 言語活動 定期考査				
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	40%	思考・判断・表現	30%	主体的に学習に取り組む態度	30%

教科名	外国語	単位数	3	使用教材	開隆堂 APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION I (開隆堂)	
					APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION I	ワークブック (開隆堂)
科目名	英語コミュニケーション I	対象年次	1	授業の進め方	予習で単語の意味を調べ、本文の意味を考える。 授業で本文の内容を理解し、文法事項を押さえる。	
学習目標	日常的・社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて捉えらるることも、聞いたり読んだりしたことに基づき、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり文章にしたりして伝えることができる。				予習・新出単語の意味を辞書で調べ、本文の内容を理解しようとする。 授業・予習がしてあること前提に、本文の内容や文法事項を確認する。 復習・本文の内容を復習し、単語の意味や文法を覚え、既習事項を書いたり話したりして使ってみる。	
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
本文で扱われる英語の構文や文法を理解し、概要や要点を捉えることができる。						
月	単元・学習項目			学習内容・ねらい		評価の方法
8	Lesson4: Evolving Airlines 題材: 飛行機の歴史、未来の飛行機、飛行機の楽しみ方 形式: 対話文 ・助動詞 ・受動態			学習内容・ねらい		学習プリント 言語活動 定期考査
9	Lesson5: The symbol of Peace 題材: サブールの人々の考え方・生き方 形式: 報告文 形式: 報告文 ・動名詞 ・不定詞 ・形式主語			<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞、不定詞、形式主語の用法について理解し、サブールに関するさまざまな情報を捉える技能を身に付けている。 ・サブールの人々の考え方や生き方について、動名詞や不定詞を活用して自分の考えや気持ちをまとめて、伝えることができる。 ・サブールの人々の考え方の人々の生き方を理解し、自分の考えや気持ちについて伝え合おうとしている。 		
10	Lesson6: Srengipity 題材: サブールの人々の考え方・生き方: セレンディピティについて ・分詞の後置修飾 ・印役動詞 ・使役動詞			<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の後置修飾、知覚動詞、使役動詞の用法を理解し、それらを用いたさまざまなセレンディピティに関する話について、情報や要点を捉えることができる。 ・セレンディピティに関する事柄について、既習の語句や表現を用いて、相手と情報を交換したり、考えや気持ちを伝えることができる。 ・本文を読んで、セレンディピティに関する理解を深め、相手に配慮しながら、自分の考えや気持ちを積極的に英語を用いて伝え合おうとしている。 		学習プリント 言語活動 定期考査
11	Lesson7: The Secrets Hidden in Vermeer's Works 題材: 画家フェルメールの生涯、作品について ・関係代名詞			<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の用法を理解し、フェルメールの生涯や魅力について情報や概要、要点を捉える技能を身に付けている。 ・フェルメールの生涯や作品について、関係代名詞を用いながら、論理性に注意して伝え合うことができる。 ・相手に配慮しながら、学んだことを積極的に英語を用いて話そうとしている。 		
12	Lesson8: Endangered Species in the World 題材: 絶滅危惧種の動物について ・関係代名詞 ・関係副詞			<ul style="list-style-type: none"> ・文法の用法を理解し、絶滅危惧種の動物について、情報の概要、要点を捉える技術を身に付けている。 ・絶滅危惧種について、情報や考え、気持ちを論理性に注意しながら伝えることができる。 ・絶滅危惧種について理解を深め、積極的に伝え合おうとしている。 		学習プリント 言語活動 定期考査
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	思考・判断・表現	
				40%	30%	30%

教科名	外国語	単位数	3	開隆堂 APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION I (開隆堂)	
科目名	英語コミュニケーション I	対象年次	1	開隆堂 APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION I ワークブック (開隆堂)	
学習目標	<p>日常・社会的な話題について、概要や要点を目的に応じて捉えるとともに、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり文章にしたりして伝えることができる。</p>				
評価の観点	<p>知識・技能 本文で扱われる英語の構文や文法を理解し、概要や要点を捉えることができる。</p> <p>思考・判断・表現 英語の構文や既習の文法を用いて、与えられたテーマに基づき、自分の考えや気持ちを英語で伝えようとしている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 英語の構文や既習の文法を用いて、与えられたテーマに基づき、自分の考えや気持ちを英語で伝えようとしている。</p>				
月	単元・学習項目	学習内容・ねらい		評価の観点	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	Lesson9: The Dream of Special Makeup 題材: 特殊メイク、カズ・ヒロさんの活躍について ・条件を表す副詞節 ・仮定法過去	○	○	○	
2	Lesson10: Purifying Powder 題材: 水の大切さ、小田兼利さんの活躍 ・関係代名詞what ・強調構文 ・分詞構文	○	○	○	
3	Reading: tupera tupera 題材: 絵本について、tupera tuperaについて	○	○	○	
振り返り 反省	観点別評価の割合		知識・技能 40%	思考・判断・表現 30%	主体的に学習に取り組む態度 30%

教科名	家庭	単位数	2	使用教材	教科書 東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造 副教材 第一学習社 2022新生活ハンドブック	
科目名	家庭基礎	対象年次	1年	授業の進め方	教科書、プリント、パワーポイントを用いて授業を行う。 実験、実習を多く取り入れる。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・本能的な知識と技術を習得させ、家族や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の赤向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 自ら学び考えることができる学習活動を通して、問題解決能力と実践的な態度を育てる。 	学習方法 (留意点)	<ul style="list-style-type: none"> 社会の動向に目を向け、知識を得る。 自分の身の回りの回りや将来のことに興味をもち、責任を伴う意思決定をする。 対話的な学習活動を通して、様々な考え方を理解するとともに、協力して課題を解決しようとする。 			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の観点	評価の方法	
月	単元・学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス 家庭科の学び方 ○生涯を見通す人生をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・人生を展望する ・目標をもって生きる ・人生をつくる ・家族・家庭をみつめる 	<ul style="list-style-type: none"> □ 家庭科の学び方を理解する。 □ 青年期の課題を理解し、目標をもつて生きようとする。 □ 生涯を見通して自分のライフスタイルを考えられるように、さまざまな生き方について理解する。 □ 社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 □ 仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・課題提出 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと共に育つ <ul style="list-style-type: none"> ・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・子どもと関わる ・これからの保育環境 	<ul style="list-style-type: none"> □ 命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任をもつために、性と生涯に関する健康について理解する。 □ 子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 □ 子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 □ 社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・課題提出 ・実習 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ○超高齢社会を共に生きる <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢・大衆長寿社会の到来 ・高齢者の心身の特徴 ・これからの超高齢社会 	<ul style="list-style-type: none"> □ 超高齢社会の背景を理解する。 □ 高齢者が生きがいをもつて生活するために、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 □ 加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 □ 高齢者の自立を支えるためにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ○学習を生かす <ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト 計画 ・台ふきん製作 ・あかちゃんふくれあい体験 	<ul style="list-style-type: none"> □ ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 □ 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート 	
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				%	%	%

教科名	家庭	単位数	2	使用教材	教科書 東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造 副教材 第一学習社 2022新生活ハンドブック 教科書、プリント、パワーポイントを用いて授業を行う。 実験、実習を多く取り入れる。 社会の動向に目を向け、知識を得る。 自分の身の回りや将来のことに関心をもち、責任を伴う意思決定をする。 対話的な学習活動を通して、様々な考え方があふれることを理解するとともに、協力して課題を解決しようとする。	単元的に学習に取り組み、主体的に学習に取り組む態度	評価の観点		評価の方法						
							知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度					
科目名	家庭基礎	対象年次	1年	授業の進め方 学習方法 (留置点)		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
学習目標	人の一生涯と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家族や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実に資する能力と実践的な態度を育てる。 自ら学び考えることができる学習活動を通して、問題解決能力と実践的な態度を育てる。	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
評価の観点	生活に主体的に取り組むために必要な人の一生涯と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
月	単元・学習項目			学習内容：ねらい			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
8	○赤ちゃんふれあい体験			子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。			○		○						
9	○食生活をつくる ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食生活の選択と安全 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活			<input type="checkbox"/> よりよい食生活を身に付け、生活を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 <input type="checkbox"/> 安全で衛生的な食生活を営むために、食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 <input type="checkbox"/> 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に付けるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 <input type="checkbox"/> 配膳やマナーに関心をもつ。 <input type="checkbox"/> 郷土食や行事食などの良いところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 <input type="checkbox"/> 自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。			○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート レポート 課題提出 実習 					
10							○	○	○						
11	○衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活			用途に合った着装を実現できる力を身に付けるために、社会生活を営む上で被服の役割を理解する。 被服表示を参考に目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身に付けるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 手持ちの被服を長期にわたって着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の観点で自分の衣生活を見直す。			○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート レポート 実習 課題提出 					
12							○	○	○						
振り返り 反省							観点別評価の割合		<table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td>9%</td> </tr> </table>	知識・技能	9%	思考・判断・表現	9%	主体的に学習に取り組む態度	9%
知識・技能	9%														
思考・判断・表現	9%														
主体的に学習に取り組む態度	9%														

教科名	家庭	単位数	2	使用教材	教科書 東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造 副教材 第一学習社 2022新生活ハンドブック
科目名	家庭基礎	対象年次	1年	授業の進め方	教科書、プリント、パワーポイントを用いて授業を行う。 実験、実習を多く取り入れる。
学習目標	<p>・人の一生涯と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実に向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>・自ら学び考えることができる学習活動を通して、問題解決能力と実践的な態度を育てる。</p>				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	
月	単元・学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○住生活をつくる ・住生活の変遷と住居の機能 ・あん・ぜんで快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活 	<ul style="list-style-type: none"> ○経済生活を営む ・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・これからの経済生活 	<ul style="list-style-type: none"> □ 生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住居を理解する。 □ 自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 □ 自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 □ 毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 □ 販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。 □ 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。 □ 大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国際経済のつながりについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・実習
2					
3	○私のライフプラン 人生をデザインしよう				
振り返り 反省	観点別評価の割合			知識・技能	%
				思考・判断・表現	%
				主体的に学習に取り組む態度	%

教科名	情報 I		単位数	2		教科書・実教出版 情報 I web教材: Life is Tech! Lesson 情報 I 全対応コース web教材やワークシートを使用し、進める。	主体的に学習に取り組む態度
	科目名	情報 I		対象年次	1年		
学習目標	<p>情報に関する科学的な方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを旨とする。</p>						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
月	単元・学習項目		学習内容・ねらい		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	第1章 情報社会と私たち	1 情報社会	1 情報社会と情報	○	○	○
5	2 情報のモラルと個人に及ぼす影響	2 節 情報社会の法規と権利	1 知的財産	2 個人情報の保護と管理	○	○	○
6	3 社会の中の情報デザイン	3 節 情報社会が築く新しい社会	1 社会の中の情報デザイン	2 情報技術と課題解決	○	○	○
7	5 問題解決とその方法	5 章 問題解決とその方法	1 問題解決	1 問題解決	○	○	○
8	2 メディアとデザイン	2 章 メディアとデザイン	1 メディアとコミュニケーション	1 メディアの発達	○	○	○
9	3 社会の中の情報デザイン	3 章 社会の中の情報デザイン	1 社会の中の情報デザイン	2 情報デザインの工夫	○	○	○
振り返り反省	<p>知識・技能 35% 思考・判断・表現 35% 主体的に学習に取り組む態度 30%</p>						

教科名	地理歴史	単位数	4	使用教材	教科書：実教出版 高校日本史B 資料集：浜島書店 プロムナード日本史 ワーク：山平書会出版事業部 ボテンシャル日本史 差異力養成編
科目名	日本史B	対象年次	3年	授業の進め方	教科書を基本に定める。
指導目標	・近世から現代までの日本の歴史を、国際環境や身近な歴史と関連付けて考察する。 ・社会の形成や文化の特色について、多角的・多面的に考察して主体的に判断する能力を育成する。				
学習方法(留意点)	・授業・板書を穴読め式の授業プリントに記入する。				
<評価の方法>			<提出物>		
・定期考査の点数を基本として、授業態度や課題の提出状況、出席状況などを総合的に判断する。			・ポテンシャル日本史差異力養成編、一問一答プリント 課題の範囲(問題番号)		
月	単元・学習項目	目	学習目標	提出日	追加課題
4	2:室町幕府の確立 3:室町時代の東アジアと日本 4:南北朝時代の文化と北山文化 5:室町時代の高度経済の発達 6:惣村と一揆 7:室町幕府の衰退と戦国動乱 8:戦国時代の政治と社会	78, 79 80, 81 82, 83 84, 85 86, 87 88, 89 90, 91	<input type="checkbox"/> 室町幕府の機構や性格がわかる。 <input type="checkbox"/> 産業経済の発展や一段々を過して、室町期の民衆の成長を理解できる。 <input type="checkbox"/> 応仁の乱の背景や戦国時代の原因、展開、結果の乱れの状況を理解できる。 <input type="checkbox"/> 室町期の対東アジア関係について理解できる。 <input type="checkbox"/> 室町時代の文化について、その特徴や代表的遺構、作品名等を知る。		
5	9:東山文化と地方への波及 第5章 統一政権の成立 1:大航海時代と日本 2:織田信長の天下布武 3:豊臣秀吉の全国統一 4:豊臣政権の対外政策 6:徳山文化 6:江戸幕府の成立 7:幕府と藩の支配体制	92, 93 102,103 104,105 106,107 108,109 110,111 112,113 114,115	<input type="checkbox"/> キリスト教の伝来について、この時代に伝来した背景や、伝来後の影響について世界的視野で理解できる。 <input type="checkbox"/> 信長、秀吉の政策について、具体的な内容のほか、それがどのような時代の要請によって実施されたのかを理解できる。 <input type="checkbox"/> 江戸幕府の機構や、大各統制の内容について理解できる。		
【中間考査】					
6	8:鎖国と四つの口 9:身分制と村・町支配 第6章 幕府体制の展開 1:幕府政治の転換 2:産業の発達 3:交通と都市の発達 4:町人文化と学問の発達	116,117 118,119 124,125 126,127 128,129 130,131	<input type="checkbox"/> 幕府が禁教に踏み切った背景や、禁教の具体的な展開について理解できる。 <input type="checkbox"/> 主に交通や農業の分野における発達の様子を理解できる。		
【期末考査】					
7	5:享保の改革と田沼の政治 6:商品経済の発達と社会の変化 7:蘭学と国学の普及 8:寛政の改革と異国船の接近 9:大塩の乱と天明の改革 10:民衆文化の発展	132,133 134,135 136,137 138,139 140,141 142,143	<input type="checkbox"/> 江戸期の幕政改革の内容、各種の政治改革の内容を理解できる。 <input type="checkbox"/> 蘭学、国学の代表的な人物名や著作名を知る。		
8	第7章 大日本帝国の形成 1:開国と社会の変動 2:幕王権から倒幕へ 3:明治維新と新政府の成立 4:文明開化と徳政 5:地租改正と富国強兵 6:アジア外交と国境問題 7:民権思想と国会開設運動 8:私権憲法と政教の結成 9:松方財政と国債運動の激化 10:大日本帝国憲法の制定	150,151 152,153 154,155 156,157 158,159 160,161 162,163 164,165 166,167 168,169	<input type="checkbox"/> 幕府滅亡までの過程について、対立関係の把握、登場する人物、各派の動きを知る。 <input type="checkbox"/> 明治新政府が実施した政策の内容を理解できる。 <input type="checkbox"/> 民衆による議会や政友会への運動の内容を理解できる。 <input type="checkbox"/> 大日本帝国憲法の内容を、日本憲法と対比させて理解できる。 <input type="checkbox"/> 不平等条約の内容、条約改正の過程について理解できる。 <input type="checkbox"/> 朝鮮に対する日本の姿勢や具体的な政策について理解できる。		
9	第8章 大日本帝国の展開 1:条約改正と立憲政友会の結成 2:朝鮮政策と日清戦争 3:日清戦争後の東アジア 4:日露戦争と朝鮮 5:朝鮮の植民地化 6:産業革命と社会問題 7:欧米文化と伝統文化の交錯 8:大正デモクラシー 9:第一次世界大戦 10:第一次世界大戦後の世界 11:日本資本主義の成長 12:米騒動と社会運動 13:普通選挙法と治安維持法 14:大正デモクラシーと文化	172,173 174,175 176,177 178,179 180,181 182,183 184,185 186,187 188,189 190,191 192,193 194,195 196,197 198,199	<input type="checkbox"/> 帝国主義時代の世界の動向を知り、その中で日本が行った2つの戦争について理解できる。 <input type="checkbox"/> 第1次世界大戦が勃発した背景について、特にヨーロッパの情勢について理解できる。 <input type="checkbox"/> 大戦が与えた影響について経済面から理解できる。 <input type="checkbox"/> 国憲運動の展開と2つの法について理解できる。		
10	第9章 15年戦争と日本・アジア 1:日清戦争への序幕 2:滿州軍と「萬州国」 3:日中戦争 4:第二次世界大戦と日本 5:アジア太平洋戦争 6:戦時下の文化と国民生活 7:日本の敗戦	204,205 206,207 208,209 210,211 212,213 214,215 216,217	<input type="checkbox"/> 太平洋戦争の推移と、日本の関わりについて理解できる。 <input type="checkbox"/> 戦争の被害、戦後のわが国の様子を学び、戦争がもたらしたものについて考察できる。		
11	第10章 戦後改革と高度経済成長 1:戦後世界と日本 2:日本国憲法と民主主義体制 3:戦後改革の転換 4:戦後復興と再軍備	222,223 224,225 226,227 228,229	<input type="checkbox"/> GHQの占領政策と戦後の民主化政策の内容を理解できる。 <input type="checkbox"/> 大戦後の世界の動向を冷戦構造を中心に理解できる。 <input type="checkbox"/> 朝鮮戦争を契機として、アメリカの対日政策が大きく転換したことを知る。		
12	6:サンフランシスコ平和条約 7:新日米安全保障条約 8:高度経済成長と公害 9:ベトナム戦争と沖縄 9:戦後の文化	230,231 232,233 234,235 236,237 240,241	<input type="checkbox"/> 戦後日本の経済発展について知る。 <input type="checkbox"/> 対米外交、対アジア外交の動向を理解できる。		
【学年末考査】					
1					
2					
3					

教科名	地理歴史	単位数	4	使用教材	・新詳地理B(帝国書院) ・新詳高等地図(帝国書院) ・新詳地理資料COMPLETE2022(帝国書院) 地理統計2022	サクシード地理(啓成社)
科目名	地理B	対象年次	3年	授業の進め方	教科書の内容をもとにした授業プリントを使いながら、資料集や地図帳も参照する。	
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、地理的な理解を深める。 多様な風土や文化を学び、互いに尊重し認め合う態度を育てる。 			学習方法(留意点)	授業: 本格的には授業プリントを理めながら理解する。グループワークなどの学習活動も取り入れる。 復習: 予習がない分復習に力を入れる。まずは授業プリントの内容を振り返る。その際、各教材の対応ページも参照すること。スタディノートも課題に出すが、指定した課題だけでよいので集中して取り組むこと。	
<評価の方法>				<提出物>		
定期考査の結果が主な評価対象だが、提出物の状況・授業態度を総合的に評価する。				授業ノート、サクシード地理。		
月	単元・学習項目	頁	学習目標	課題の範囲(問題番号)	提出日	追加課題
4	6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信 8節 現代世界の貿易と経済圏	153~157 158~161 162~167	<input type="checkbox"/> 第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を理解できる。 <input type="checkbox"/> 現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を理解できる。			
5	3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 【中間考査】	168~170 171~175	<input type="checkbox"/> 世界の人口について、世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を理解できる。 <input type="checkbox"/> 人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を理解できる。			
6	2節 人口問題 日本の人口問題 3節 村落と都市 【期末考査】	176~179 180~190	<input type="checkbox"/> 日本が直面している人口問題を理解し、その対策について考える。 <input type="checkbox"/> 村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を理解できる。			
7	3節 村落と都市		<input type="checkbox"/> 陽田集落である五箇山の集落形成の特徴と他の陽田集落を比較し、特徴を理解できる。			
8	4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住	201~207	<input type="checkbox"/> 生活文化について、衣食住の分布や地域的差異と世界的な画一化について理解する。			
9	2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題	208~212 213~214 215~226	<input type="checkbox"/> 民族と宗教について、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて理解する。 <input type="checkbox"/> 宗教の違いによる民族対立について、理解できる。 <input type="checkbox"/> 国家の3要素、国境の種類を知る。 <input type="checkbox"/> 民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を理解する。			
10	4節 民族・領土問題 【中間考査】 第Ⅲ部 現代世界の地域区分 1章 現代世界の地域区分 1節 地誌的考察方法 2節 東アジア	215~226 231 232~246	<input type="checkbox"/> パレスチナ紛争、アフガニスタン紛争など日本以外で起きている紛争が世界や日本に大きな影響を与えていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 地勢的地域区分や文化的地域区分を知る。 <input type="checkbox"/> 中国の政治や経済、文化の開放の歴史について理解することができる。			
11	3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 【期末考査】	247~254 255~262 263~269 270~276	<input type="checkbox"/> 文化・宗教の十字路である東南アジアの特徴を理解する。 <input type="checkbox"/> ヒンドゥー教によるインドの人々の生活について理解する。 <input type="checkbox"/> イスラム教で繋がったこの地域の文化について知			
12	7節 ヨーロッパ 8節 ロシア	277~288	<input type="checkbox"/> ヨーロッパの民族、宗教分布、気候、農業などの特色を、作業を通じて理解することができる。			
1	9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア 【期末考査】	295~307 308~315 316~323	<input type="checkbox"/> 北アメリカの歴史と民族について、その特徴を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 近年関係が深まっているラテンアメリカの特徴を理解することができる。 <input type="checkbox"/> オーストラリアとの密接な経済関係を理解することができる。			
2						
3						